

Oracle® Enterprise Data Quality for Product Data

Services for Excel リファレンス・ガイド

リリース 5.6.2

部品番号 : B66258-01

2011 年 11 月

Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Services for Excel リファレンス・ガイド, リリース 5.6.2

部品番号 : B66258-01

Copyright © 2001, 2011 Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Primary Author: Lorna Vallad

This software and related documentation are provided under a license agreement containing restrictions on use and disclosure and are protected by intellectual property laws. Except as expressly permitted in your license agreement or allowed by law, you may not use, copy, reproduce, translate, broadcast, modify, license, transmit, distribute, exhibit, perform, publish, or display any part, in any form, or by any means. Reverse engineering, disassembly, or decompilation of this software, unless required by law for interoperability, is prohibited.

The information contained herein is subject to change without notice and is not warranted to be error-free. If you find any errors, please report them to us in writing.

If this is software or related documentation that is delivered to the U.S. Government or anyone licensing it on behalf of the U.S. Government, the following notice is applicable:

U.S. GOVERNMENT RIGHTS Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

This software or hardware is developed for general use in a variety of information management applications. It is not developed or intended for use in any inherently dangerous applications, including applications that may create a risk of personal injury. If you use this software or hardware in dangerous applications, then you shall be responsible to take all appropriate fail-safe, backup, redundancy, and other measures to ensure its safe use. Oracle Corporation and its affiliates disclaim any liability for any damages caused by use of this software or hardware in dangerous applications.

Oracle and Java are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates. Other names may be trademarks of their respective owners.

Intel and Intel Xeon are trademarks or registered trademarks of Intel Corporation. All SPARC trademarks are used under license and are trademarks or registered trademarks of SPARC International, Inc. AMD, Opteron, the AMD logo, and the AMD Opteron logo are trademarks or registered trademarks of Advanced Micro Devices. UNIX is a registered trademark of The Open Group.

This software or hardware and documentation may provide access to or information on content, products, and services from third parties. Oracle Corporation and its affiliates are not responsible for and expressly disclaim all warranties of any kind with respect to third-party content, products, and services. Oracle Corporation and its affiliates will not be responsible for any loss, costs, or damages incurred due to your access to or use of third-party content, products, or services.

目次

はじめに	iii
ドキュメントのアクセシビリティについて	iv
関連ドキュメント	iv
表記規則	v
1 概要	
ツールバーおよびメニューの説明	1-2
Jobs メニュー	1-2
Test メニュー	1-3
DataLens Tools メニュー	1-4
DataLens Help メニュー	1-5
Excel セルのコンテキスト依存メニュー	1-5
2 Services for Excel のインストールおよび構成	
インストールの準備	2-2
ハードウェアおよびソフトウェア要件	2-2
Enterprise DQ for Product の前提条件	2-2
Oracle DataLens Server ソフトウェア (必須)	2-2
DataLens Client ソフトウェア (オプション)	2-2
Windows の管理者ユーザー・アカウントの作成	2-3
ソフトウェアの取得	2-3
現在のソフトウェア・バージョンの特定	2-3
Services for Excel のインストール	2-4
Windows 32 ビットでのインストール:	2-4
Windows 64 ビットでのインストール:	2-5
初回使用時の構成	2-7
AutoBuild アプリケーションを使用するための Enterprise DQ for Product クライアント・ ソフトウェアのインストール	2-7
Oracle DataLens Server へのログイン	2-9
Oracle DataLens Server の変更	2-10
アプリケーションのオプションの構成	2-11

3 データの変換

DSA の構成	3-2
DSA ジョブの設定	3-5
一意のレコード識別子	3-6
一意識別子列の作成	3-6
DSA 出力	3-7
Output という名前の DSA 出力	3-7
DSA の実行によるデータ・レコードの処理	3-8
リアルタイム・レコード処理の使用	3-8
バッチ・モード・レコード処理の使用	3-10
結果データの削除	3-11
ジョブ・ステータスの表示	3-11

4 データの高度な利用

メタデータ・ファイルのロード	4-2
データの変更およびグループ化	4-3
列へのデータの入力	4-3
文字の分析および置換	4-4
文字セットの分析	4-4
制御文字の置換	4-4
文字 16 進値の検索	4-4
埋込み HTML タグの削除	4-5
回帰テストの使用	4-6
回帰セットの作成または更新	4-6
回帰セット・ワークシートの削除	4-7
回帰セットへのセルの追加	4-7
選択したレコードの比較	4-8
ジョブ結果の比較	4-9
データ・サンプリングの使用	4-10
ソース・データのバックアップ	4-11
AutoBuild アプリケーションの使用	4-11

はじめに

このリファレンス・ガイドでは、Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Services for Excel の基本的な機能を説明します。

提示された拡張機能をすべて理解するには、このリファレンス・ガイドとともに、iv ページの「[関連ドキュメント](#)」に示す Enterprise DQ for Product の各ドキュメントを使用する必要があります。

このマニュアルを使用する前に、次の Enterprise DQ for Product ドキュメントをお読みください。

- Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Knowledge Studio リファレンス・ガイド
- Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Application Studio リファレンス・ガイド

ドキュメントのアクセシビリティについて

オラクル社のアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility Program の Web サイト <http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=docacc> を参照してください。

Oracle サポートへのアクセス

Oracle のお客様は、My Oracle Support にアクセスして電子サポートを受けることができます。詳細は、<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info> または <http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs> (聴覚障害者向け) を参照してください。

関連ドキュメント

詳細は、ドキュメント・セットに含まれる次のドキュメントを参照してください。

- Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Oracle DataLens Server インストールেশョン・ガイドには、Oracle DataLens Server のインストール手順の詳細が記載されています。
- Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Oracle DataLens Server 管理者ガイドには、Oracle DataLens Server のインストールと管理に関する情報が記載されています。
- Oracle Enterprise Data Quality for Product Data COM インタフェース・ガイドには、Oracle DataLens Server の COM API のインストールと使用に関する情報が記載されています。
- Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Java インタフェース・ガイドには、Oracle DataLens Server の Java API のインストールと使用に関する情報が記載されています。
- Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Application Studio リファレンス・ガイドには、Data Service Applications (DSA) の作成と保守に関する情報が記載されています。
- Oracle Enterprise Data Quality for Product Data AutoBuild リファレンス・ガイドには、既存の製品情報およびデータ・レンズ・ナレッジに基づいた初期データ・レンズの作成に関する情報が記載されています。
- Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Knowledge Studio リファレンス・ガイドには、データ・レンズの作成と保守に関する情報が記載されています。
- Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Governance Studio リファレンス・ガイドには、Data Service Applications (DSA) の実行と出力データの分析に関する情報が記載されています。
- Oracle Enterprise Data Quality for Product Data 用語集には、Enterprise DQ for Product テクノロジで一般的に使用する用語の定義が記載されています。
- Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Task Manager リファレンス・ガイドには、Task Manager または Governance Studio アプリケーションで作成されたタスクの管理に関する情報が記載されています。

このドキュメントおよびすべての関連ドキュメントの最新版は、次に示す Oracle Enterprise Data Quality for Product Data ドキュメントの Web サイトから入手できます。

http://download.oracle.com/docs/cd/E20593_01/index.htm

表記規則

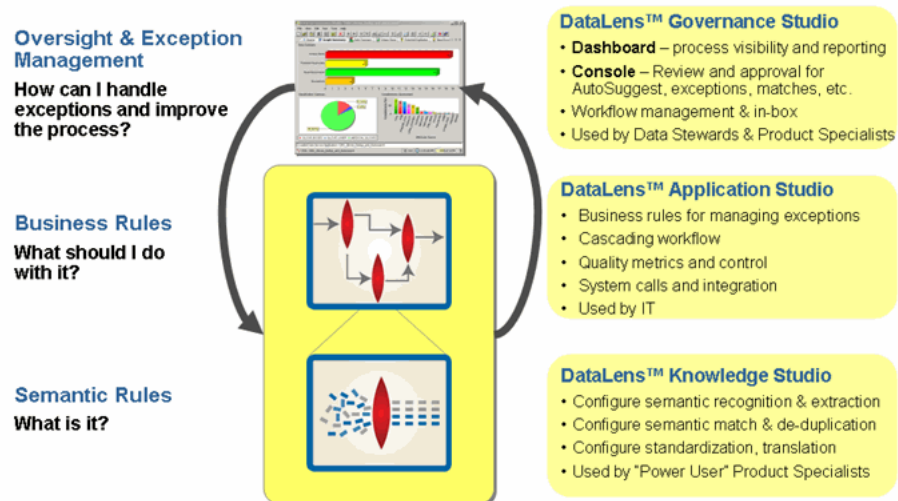
このマニュアルでは、次の表記規則を使用します。

規則	意味
太字	太字は、操作に関連する Graphical User Interface 要素、または本文中で定義されている用語および用語集に記載されている用語を示します。
イタリック体	イタリックは、マニュアルのタイトル、強調、またはユーザーが特定の値を指定するプレースホルダ変数を示します。
固定幅フォント	固定幅フォントは、段落内のコマンド、URL、サンプル内のコード、画面に表示されるテキスト、入力するテキスト、ファイル、ディレクトリまたはパス名を示します。
固定幅フォント	太字の固定幅フォントは、入力するコマンドまたはテキストを示します。

概要

Oracle DataLens Server は、様々なソースおよびシステムの製品データを標準化、照合、補完および修正する業界最先端の DataLens™ テクノロジーを基に構築されています。DataLens の中核テクノロジーには、製品データ特有の極端な多様性を処理するために、一から設計された特許取得済セマンティック・テクノロジーが使用されています。

Oracle Enterprise Data Quality for Product Data（以前の Oracle Product Data Quality）では、Governance Studio、Knowledge Studio および Application Studio の DataLens の中核テクノロジー・モジュールが使用されます。次の図に、これらのモジュールのプロセス・フローを示します。



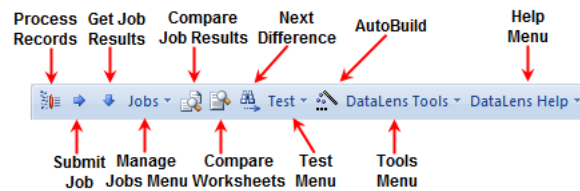
Enterprise DQ for Product (EDQP) Services for Excel は、スプレッドシート・ベースのカスタマイズされた高度なデータ変換を提供するために設計されたアプリケーションで、Oracle DataLens Server プラットフォームとともに使用します。Services for Excel では、Microsoft Excel を使用して企業データをビジネスに活用する準備を整えることができます。

Services for Excel は Oracle DataLens Server に直接インタフェースして、Data Service Applications (DSA) を実行します。これは、DSA をエンタープライズ・データの標準化、照合、重複除去および変換に使用する方法の 1 つです。

Services for Excel アプリケーションは、Enterprise DQ for Product で提供される製品パッケージ全体の能力を活用するように設計されています。強力なツールおよびコマンド一式が Excel にインストールされ、カスタムのツールバーおよびコンテキスト依存メニューを使用してアクセスできます。インストールの詳細は、2-1 ページの「[Services for Excel のインストールおよび構成](#)」を参照してください。

ツールバーおよびメニューの説明

次に、「Services for Excel」 ツールバーのボタンおよびメニューを左から右に簡単に説明します。



ヒント: マウス・ポインタをメニュー項目、ボタン、タブ、アイコンまたは同様のコンテンツにあわせると、ツールヒントが表示されます。

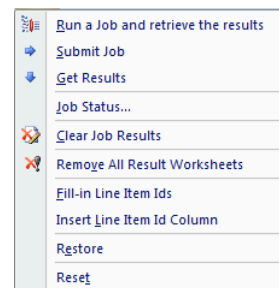
ツールバー上のボタンは最も頻繁に使用される機能であるため、クイック・アクセスが可能になっています。各ボタンは該当するメニューにも表示されます。

Jobs メニュー

「Jobs」 ボタンおよび関連するメニュー項目には、ジョブを実行、監視および管理する上で役立つ一連の機能が用意されています。

Run a Job and retrieve the results

同期 DSA ジョブを実行してデータ・レコードを即時に処理し、結果を返します。実行中はジョブの進捗状況ダイアログが表示され、ジョブが完了するとユーザーに通知されます。詳細は、3-8 ページの「[DSA の実行によるデータ・レコードの処理](#)」を参照してください。



Submit Job

構成済 DSA を使用してバックグラウンド・ジョブを開始します。ジョブの発行後は、Excel ワークブックを保存して Excel を閉じてから、後で同じワークブックを再び開いてジョブ結果を取得できます。ジョブ結果を取得できるのは 1 回のみです。

Get Results

発行済の DSA ジョブから結果を取得します。ジョブの実行が完了していない場合は、ジョブがまだ実行中であることを示すポップアップ・メッセージが表示されます。実行中のジョブがない場合またはジョブが完了している場合は、結果を取得する際に使用するジョブ ID の入力を求められます。ジョブ ID は「[Job Status...](#)」 オプションを使用して取得できます。DSA ジョブを実行するたびにワークシートが自動的に作成されます。

Job Status...

完了したジョブおよび現在実行中のジョブのステータスおよび関連詳細情報を表示するために使用します。詳細は、3-11 ページの「[ジョブ・ステータスの表示](#)」を参照してください。

Clear Job Results

すべてのスプレッドシートでデータ結果を消去します。すべてのレコード・データが削除されます。スプレッドシートのフォーマットには影響ありません。

Remove All Result Worksheets

DSA ジョブ結果の取得によって作成されたすべての結果ワークシートを削除します。入力ワークシートには影響ありません。出力ワークシートの削除を確認するプロンプトが表示されます。

Fill-in Line Item Ids

各レコードの A 列の値を分析し、有効な一意の ID が存在しているかどうか判断します。詳細は、3-6 ページの「一意のレコード識別子」を参照してください。

Insert Line Item Id Column

入力データに識別子列を追加します。選択すると、新しい列 **A** が他のすべての既存列の前に挿入され、列には **Id** というタイトルが付けられ、一意の識別子のセットがこの列に追加されます。詳細は、3-6 ページの「一意のレコード識別子」を参照してください。

Restore

非表示のバックアップ・ワークシートが使用可能な場合に、ソース・データ・ワークシートを前の状態に復元します。詳細は、4-11 ページの「ソース・データのバックアップ」を参照してください。

Reset

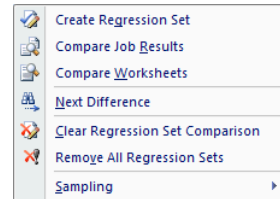
すべての非表示のバックアップ・ワークシートおよび Data Services for Excel 構成ワークシートを削除します。各ワークシートの削除を確認するプロンプトが表示されます。詳細は、4-11 ページの「ソース・データのバックアップ」を参照してください。

Test メニュー

「Test」ボタンおよび関連するメニュー項目には、回帰テストおよびデータ比較に使用できる、各種ユーティリティが用意されています。

Create Regression Set

回帰セット・ワークシートの作成に使用します。アクティブなワークシートが新規ワークシートにコピーされ、アクティブなワークシートと同じ名前に `_RSET` という接尾辞が付いた名前になります。



Compare Job Results

`_RSET` 接尾辞が含まれるアクティブなワークブック内のすべての回帰テスト・セット・ワークシートを削除します。

Compare Worksheets

2つの異なる DSA ジョブの結果の差異を特定するために使用します。

Clear Regression Set Comparison

回帰テストで作成されたアクティブなワークシート上のすべての比較強調表示を消去します。

Remove All Regression Sets

アクティブなワークブック内のすべての回帰テスト・セット・ワークシートを削除します。

Sampling

このメニューには次の 2 つのオプションがあります。



Create Key Record Sample

アクティブなワークシート内のレコードを抽出し、レコードのランダムなサンプルを含む `_KSET` 接尾辞が付いた新規ワークシートを作成します。詳細は、4-10 ページの「データ・サンプリングの使用」を参照してください。

Create Baseline Record Sample

アクティブなワークシート内のレコードを抽出し、統計的に重要なレコードのランダムなサンプルを含む `_BSET` 接尾辞が付いた新規ワークシートを作成します。詳細は、4-10 ページの「データ・サンプリングの使用」を参照してください。

DataLens Tools メニュー

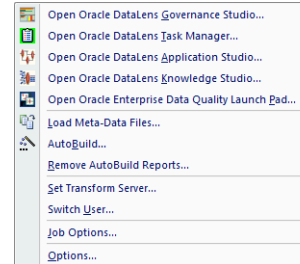
「Tools」ボタンおよび関連するメニュー項目には、他の Enterprise DQ for Product アプリケーションを開いたり、AutoBuild にアクセスしたり、関連レポートを作成したり、様々な Services for Excel オプションを設定したりするために使用できる各種ツールが用意されています。

Open Oracle Governance Studio...

Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Governance Studio を開始します。ログインを求められる場合もあります。詳細は、Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Governance Studio リファレンス・ガイドを参照してください。

Open Oracle DataLens Task Manager...

Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Task Manager を開始します。ログインを求められる場合もあります。詳細は、Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Task Manager リファレンス・ガイドを参照してください。



Open Oracle DataLens Application Studio...

Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Application Studio を開始します。ログインを求められる場合もあります。Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Application Studio リファレンス・ガイドを参照してください。

Open Oracle DataLens Knowledge Studio...

Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Knowledge Studio を開始します。ログインを求められる場合もあります。詳細は、Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Knowledge Studio リファレンス・ガイドを参照してください。

Open Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Launch Pad...

Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Launch Pad を開始します。ログインを求められる場合もあります。

Load Meta-Data Files...

複数の異なるファイルからの類似したメタデータ・レコードを単一のメタデータ・ファイルに統合するために使用します。詳細は、4-2 ページの「メタデータ・ファイルのロード」を参照してください。

AutoBuild...

暗黙的な顧客データ・スキーマ情報または顧客データベース・エクスポート内で検出された顧客データ・スキーマ情報から新規のデータ・レンズを作成するために使用します。

通常、エクスポート情報は Excel スプレッドシートおよびタブ区切りファイルの出力です。このアプリケーションはステップごとのウィザードで、主なスキーマ要素（品目定義に変換できるカテゴリ、列、品目定義属性に変換できるラベル、およびデータ・レンズのフレーズおよび用語として取得される有効な属性値に変換できるレコード値）を構成するために使用します。詳細は、4-11 ページの「AutoBuild アプリケーションの使用」を参照してください。

Remove AutoBuild Reports...

AutoBuild アプリケーションを使用して作成されたデータ・レンズの詳細なメトリック・データおよびセマンティック・ナレッジ構造を示す 3 つの個別レポートを削除するために使用します。詳細は、Oracle Enterprise Data Quality for Product Data AutoBuild リファレンス・ガイドを参照してください。

Set Transform Server...

データの変換に使用する Oracle DataLens Server を特定します。詳細は、2-10 ページの「Oracle DataLens Server の変更」を参照してください。

Switch User...

Oracle DataLens Transform Server に現在ログインしているユーザー、およびデータを変換するサーバーを変更できます。詳細は、2-9 ページの「[Oracle DataLens Server へのログイン](#)」を参照してください。

Job Options...

ソース・データの処理方法、および処理を行う DSA を構成します。詳細は、3-2 ページの「[DSA の構成](#)」を参照してください。

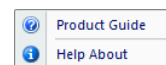
Options...

Services for Excel のグローバル用途のオプションを設定できます。詳細は、2-11 ページの「[アプリケーションのオプションの構成](#)」を参照してください。

DataLens Help メニュー

Product Guide

選択用の Enterprise DQ for Product ドキュメント・リストをブラウザで開きます。

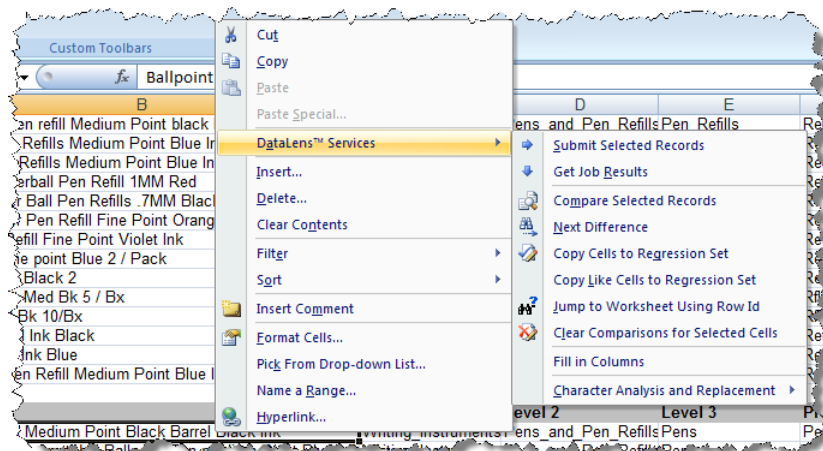


Help About

Services for Excel 製品に関する情報メッセージを表示します。「**Environment**」ボタンを使用すると、バージョン、ロケール、アプリケーション・データ・パス、ユーザー名、変換サーバー、日付など、ユーザーの環境に関する情報を表示および（テキスト・ファイルに）保存できます。

Excel セルのコンテキスト依存メニュー

Services for Excel には、スプレッドシートでレコードの特定のサブセットを使用するタスクの自動化を助けるコンテキスト依存メニューが用意されています。Excel の 1 つのセルまたは選択した複数のセルを右クリックすると、次のメニューが表示されます。



注意： ワークシート全体を選択すると、Services for Excel のコンテキスト依存メニューはアクティブになりません。

このメニューは次のように使用します。

Submit Selected Records

このメニュー項目は、現在選択されている DSA で、選択されたレコードを処理するために使用します。アクティブな Excel リージョン内で少なくとも 1 つのセルが選択されているすべてのレコードが処理されます。

Get Job Results

「Jobs」メニューの「Get Results」オプションと同じです。詳細は、1-2 ページの「Jobs メニュー」を参照してください。

Compare Selected Records

選択したレコードを、回帰テスト・セット内の対応するレコードと比較します。アクティブな Excel リージョン内で少なくとも 1 つのセルが選択されているすべてのレコードが比較されます。

Next Difference

アクティブなワークシートで次に強調表示されている差異を検索します。強調表示は、回帰ベースと最近実行されたデータとの結果の差異を示します。

Copy Cells to Regression Set

アクティブなワークシート上の許容値を回帰セット・ワークシートにコピーします。通常、強調表示されたセルを回帰テストから回帰セット・ワークシートに経過または有効な結果としてコピーするために使用します。選択された有効なすべての Excel セルが対応する回帰セットにコピーされます。コピーされたセルの比較強調表示はすべて削除されます。詳細は、4-6 ページの「回帰テストの使用」を参照してください。

Copy Like Cells to Regression Set

アクティブなワークシート上で選択および強調表示されたセルに類似した値を回帰セット・ワークシートにコピーします。複数のセルが選択されている場合は、最初のセルのみが使用されます。コピーされたセルの比較強調表示はすべて削除されます。詳細は、4-6 ページの「回帰テストの使用」を参照してください。

Jump to Worksheet Using Row Id

選択されたアクティブな行の ID を使用して、ターゲット・ワークシートの対応する行を検索します。対象となるターゲット・ワークシートの選択を求められます。この機能は、同じレコードに関する別の情報を含むワークシート間を移動する必要がある場合に役立ちます。たとえば、DSA 出力ワークシートから別のスプレッドシート上の元の入力レコードに戻る場合や、回帰テスト・ワークシート上の対応するレコードを検索する場合などにこの機能を使用してください。

Clear Comparisons for Selected Cells

選択された Excel セルで検出された比較強調表示をすべて消去します。

Compare Workbooks

選択された 2 つのワークブックの差異を比較します。検出された差異に関するレポートが作成されます。比較機能では、まず 2 つのワークブックに同じ数のワークシートが含まれているかどうかを確認します。次に、ワークブックに表示されている個別のワークシート名を左から右に比較します。最後に、同じ名前のワークシートの内容が比較され、最初のセルの差異がレポートされます。

Fill in Columns

列および隣接するセルのデータに基づいて、データの列に入力します。詳細は、4-3 ページの「列へのデータの入力」を参照してください。

Character Analysis and Replacement

このメニューには次の2つのオプションがあります。

Analyze Character Set
Replace Control Characters
Report Character Hex Values
Strip Embedded HTML Tags from Selected Cells

Analyze Character Set

選択したすべての Excel セルで検出された文字を分析し、制御文字または Unicode スペースが見つかった場合にレポートします。詳細は、4-4 ページの「[文字の分析および置換](#)」を参照してください。

Replace Control Characters

選択した Excel セルで検出されたすべての制御文字をスペースに置き換えます。詳細は、4-4 ページの「[文字の分析および置換](#)」を参照してください。

Report Character Hex Values

選択した Excel セルですべての 16 進値を検索し、レポートを作成します。詳細は、4-4 ページの「[文字の分析および置換](#)」を参照してください。

Strip Embedded HTML Tags from Selected Cells

選択した Excel セル内の埋込み HTML テキストおよび制御文字を削除します。詳細は、4-4 ページの「[文字の分析および置換](#)」を参照してください。

Services for Excel のインストールおよび構成

この章では、Enterprise DQ for Product の準備およびインストール方法、Oracle DataLens Server へのログインまたはサーバーの変更方法、およびアプリケーションのオプションの構成方法について説明します。

インストールの準備

この項では、ソフトウェアおよびハードウェアの詳細な前提条件、およびインストール用の Services for Excel ソフトウェアの取得方法について説明します。

注意： Services for Excel バージョン 5.5.03.02 は、以前のすべてのサポート対象 Services for Excel バージョンおよび Oracle DataLens Server と下位互換性があります。ユーザー・セキュリティおよびログイン・セキュリティが追加されているため、Services for Excel バージョン 5.6.x は、以前の製品バージョンとの互換性はありません。

ハードウェアおよびソフトウェア要件

次の Oracle DataLens Server ハードウェアおよびソフトウェア要件が順守されていることを確認してください。これらの要件は、認証およびサポートされるサーバー構成を表します。

次の Oracle Enterprise Data Quality for Product Data ドキュメント Web サイトで Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Hardware and Software Specification を参照し、サーバーの最小要件を満たしていることを確認してください。

http://download.oracle.com/docs/cd/E20593_01/index.htm

このドキュメントには、サーバー構成の例など、必要なすべての仕様が含まれています。Oracle DataLens Server は、これらのハードウェアおよびソフトウェア要件で動作保証されています。インストールの前に動作保証済のプラットフォームおよび Enterprise DQ for Product のバージョンのリストが必要な場合は、次のサイトで Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Certification Matrix を参照してください。

<http://www.oracle.com/technetwork/middleware/ias/downloads/fusion-certification-100350.html>

Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Server System Requirements and Supported Platforms オプションを探して選択してください。

Enterprise DQ for Product の前提条件

Services for Excel を使用する前に、次の Enterprise DQ for Product の前提条件のものをインストールする必要があります。

Oracle DataLens Server ソフトウェア（必須）

Oracle DataLens Server: ジョブを即時に同期的に実行するために、DSA へのアクセスを提供します。詳細は、Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Oracle DataLens Server インストールレーション・ガイドを参照してください。

DataLens Client ソフトウェア（オプション）

Application Studio: DSA の作成および保守に使用します。

Governance Studio: Oracle DataLens Server によるデータの管理および処理に使用します。

クライアント・アプリケーション・ソフトウェアのインストール指示もこの章に記載されています。

Windows の管理者ユーザー・アカウントの作成

Services for Excel をインストールまたはアンインストールする際は、必要なダイナミック・リンク・ライブラリ (DLL) が正しく登録または登録解除されるように、Windows の管理者ユーザー・アカウントを必ず使用してください。

Windows の管理者ユーザー・アカウントの新規作成または既存のアカウントの特定に関する支援が必要な場合は、システム管理者に連絡してください。

ソフトウェアの取得

次のように最新の Services for Excel パッチ・リリースを探してダウンロードしてください。

1. C:\¥dls_excelinstall ディレクトリを作成します。
2. 次の **My Oracle Support** Web サイトを参照してください。
<https://support.oracle.com>
3. ログインまたは登録します。
4. 「パッチと更新版」タブをクリックします。
5. 「製品またはファミリー (拡張検索)」をクリックします。
6. 「製品」フィールドに名前を入力して Oracle Enterprise Data Quality for Product Data を検索し、リストに表示されたら選択します。
7. 「リリース」リストを選択し、Oracle Enterprise Data Quality for Product Data フォルダの隣にある矢印をクリックします。
8. **EDQP 5.6** リリースを選択し、「クローズ」をクリックします。
9. 「検索」をクリックします。
10. パッチのリストから Services for Excel バージョン 5.6 を選択します。
11. A#####.zip ファイルを一時ディレクトリに解凍します。
12. datalens_services_for_excel_5_6_2.zip ファイルを同じ一時ディレクトリに解凍します。

この zip ファイルには次のファイルが含まれています。

```
DataLensServicesForExcel.CAB
DataLensServicesForExcel_Install_Win32bit.bat
DataLensServicesForExcel_Install_Win64bit.bat
DataLensServicesForExcel_Uninstall_Win32bit.bat
DataLensServicesForExcel_Uninstall_Win64bit.bat
```

現在のソフトウェア・バージョンの特定

インストールした Services for Excel のバージョンは、次の手順で特定できます。

1. Microsoft Excel を開始します。
2. 「アドイン」ツールバーを探します。
3. 「DataLens Help」をクリックして「About DataLens Services for Excel」を選択します。

Services for Excel 製品に関する情報メッセージ (バージョン、アプリケーション・パス、インストレーション・パス、ユーザー名、ネットワーク・ドメイン、日付など) がダイアログに表示されます。

注意: バージョン 5.6 はバージョン 5.5.03.02 とのみ下位互換性があります。

Services for Excel のインストール

お使いのオペレーティング・システムに該当する指示を次の項のいずれかで確認し、Services for Excel をインストールしてください。

注意： Services for Excel のインストール・スクリプトまたはアンインストール・スクリプトは、必ず管理者として実行してください。管理者として実行しない場合、アプリケーションが正しくインストールまたはアンインストールされません。

Windows 32 ビットでのインストール：

サポートされている 32 ビット・マシンに製品をインストールする場合は、次の手順に従ってください。

1. Excel が閉じていることを確認してください。
2. Services for Excel パッチをダウンロードおよび解凍してあることを確認します。詳細は、2-3 ページの「[ソフトウェアの取得](#)」を参照してください。
3. 前の手順で作成した C:\%dls_excelinstall ディレクトリに移動します。
4. **MS-DOS コマンド・プロンプト** (cmd.exe) を探し、右クリックして「**管理者として実行**」を選択します。

5. 次のインストール先ディレクトリに移動します。

```
cd C:\%dls_excelinstall
```

6. 次のコマンドを入力し、アプリケーションをアンインストールします。

```
DataLensServicesForExcel_Uninstall_Win32bit.bat
```

```
Oracle DataLens Services for Excel uninstallation program
Copyright (c) 2001, 2011, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.
...
Unregistering and removing the Windows 32-bit version of the Oracle DataLens
Services for Excel files
Make sure that you have closed all open instances of MS Excel before continuing.
..
Press any key to continue . . .
```

7. **[Enter]** を押して続行します。

```
You have successfully uninstalled the Oracle DataLens Services for Excel. Please
close this window.
Press any key to continue . . .
```

8. **[Enter]** を押してアンインストールを完了します。

9. 次のコマンドを入力し、アプリケーションをインストールします。

```
DataLensServicesForExcel_Install_Win32bit.bat
```

```
Oracle DataLens Services for Excel Installation program
Copyright (c) 2001, 2011, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.
...
...
This installation is for Windows 32-bit ONLY
If you are not running a 32-bit version of Windows 7 or Vista,
please close this window now.
...
Make sure that you are running this script with administrative privileges.
```

```

Make sure that you have closed all open instances of MS Excel before continuing.
..
Otherwise, please select Enter to continue.
...
...
Press any key to continue . . .

```

10. **[Enter]** を押して 32 ビット・システムでのインストールを続行します。

```

Microsoft (R) File Expansion Utility Version 6.1.7600.16385
Copyright (c) Microsoft Corporation. All rights reserved.
.
.
.
Expanding Files ....

Expanding Files Complete ...
Finished installing the Oracle DataLens Services for Excel.
...
Please close this window after you have read this information.
Press any key to continue . . .

```

11. **[Enter]** を押してインストールを完了します。

12. Excel を開始します。

13. 「**Services for Excel**」 アドイン・ツールバーがあることを確認してください。

「**Services for Excel**」 ツールバーは、表示方法は異なりますが、すべてのサポート対象のバージョンで同一です。Excel 2007 または 2010 を使用する場合は、「**アドイン**」タブをクリックしてツールバーにアクセスする必要があります。ツールバーが表示されることにより、**Services for Excel** 製品のインストールが成功したことが示されます。

適切なツールバーが表示されない場合は、**Oracle Consulting Services** に連絡してください。

Services for Excel 32 ビット・アプリケーションのインストールが完了しました。

Windows 64 ビットでのインストール:

サポートされている 64 ビット・マシンに製品をインストールする場合は、次の手順に従ってください。

1. Excel が閉じていることを確認してください。
2. **MS-DOS コマンド・プロンプト (cmd.exe)** を探し、右クリックして「**管理者として実行**」を選択します。
3. 次のインストール先ディレクトリに移動します。

```
cd C:\%dls_excelinstall
```

4. 次のコマンドを入力し、アプリケーションをアンインストールします。

```
DataLensServicesForExcel_Uninstall_Win64bit.bat
```

```

Oracle DataLens Services for Excel uninstallation program
Copyright (c) 2001, 2011, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.
...
Unregistering and removing the Windows 64-bit version of the Oracle DataLens
Services for Excel files
Make sure that you have closed all open instances of MS Excel before continuing.
..
Press any key to continue . . .

```

5. **[Enter]** を押して続行します。

```
You have successfully uninstalled the Oracle DataLens Services for Excel. Please
close this window.
Press any key to continue . . .
```

6. **[Enter]** を押してアンインストールを完了します。

7. 次のコマンドを入力し、アプリケーションをインストールします。

```
DataLensServicesForExcel_Install_Win64bit.bat
```

```
Oracle DataLens Services for Excel Installation program
Copyright (c) 2001, 2011, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.
...
...
This installation is for Windows 64-bit ONLY
If you are not running a 64-bit version of Windows 7 or Vista,
please close this window now.
...
Make sure that you are running this script with administrative privileges.
Make sure that you have closed all open instances of MS Excel before continuing.
..
Otherwise, please select Enter to continue.
...
...
Press any key to continue . . .
```

8. **[Enter]** を押して 64 ビット・システムでのインストールを続行します。

```
Microsoft (R) File Expansion Utility Version 6.1.7600.16385
Copyright (c) Microsoft Corporation. All rights reserved.
.
.
.
Expanding Files ....

Expanding Files Complete ...
Finished installing the Oracle DataLens Services for Excel.
...
Please close this window after you have read this information.
Press any key to continue . . .
```

9. **[Enter]** を押してインストールを完了します。

10. Excel を開始します。

11. 「**Services for Excel**」 アドイン・ツールバーがあることを確認してください。

「Services for Excel」 ツールバーは、表示方法は異なりますが、Excel 2003 と 2007 で同一です。Excel 2007 を使用する場合は、「アドイン」タブをクリックしてツールバーにアクセスする必要があります。ツールバーが表示されることにより、Services for Excel 製品のインストールが成功したことが示されます。

適切なツールバーが表示されない場合は、Oracle Consulting Services に連絡してください。

Services for Excel 64 ビット・アプリケーションのインストールが完了しました。

初回使用時の構成

既存のインストールでは、新規のコンテンツ・ファイルおよび用語ライブラリ（データ・レンズ・テンプレート DLS_Import_Template）がユーザーの Application Data フォルダの DataLens¥tmp ディレクトリにコピーされます。Services for Excel 機能のいずれかを初めて選択すると、これらのファイルのアップグレードを求められます。更新対象のファイルごとにプロンプトが表示され、新規ファイルに更新するか、または既存のファイルを保持するかを選択できます。

AutoBuild アプリケーションを使用するための Enterprise DQ for Product クライアント・ソフトウェアのインストール

Services for Excel は EDQP クライアント・ソフトウェアからは独立してインストールできますが、AutoBuild アプリケーションを使用可能にするためにはクライアント・アプリケーションをインストールする必要があります。AutoBuild は、Knowledge Studio およびその関連データ・レンズ、およびスマート用語集と相互作用します。

EDQP では、Java Web Start を使用して、クライアント・デスクトップ上でソフトウェアの現行バージョンが初期インストールおよび保守されます。その過程で、ユーザーは Oracle DataLens Server にアクセスして接続を開始し、ソフトウェアをダウンロードする必要があります。Java Web Start を使用して EDQP クライアント・アプリケーションをダウンロードおよびインストールするには、Oracle DataLens Server のインストール・ページを参照し、次の手順に従います。

1. Java SE Runtime Environment (JRE) 6 Update 21 がインストールされていることを確認します。JRE をダウンロードしてインストールの指示を入手するには、次の URL にアクセスします。
2. Microsoft Internet Explorer を起動します。
3. 接続を開始し、次の URL にアクセスしてクライアント・ソフトウェアをダウンロードします。

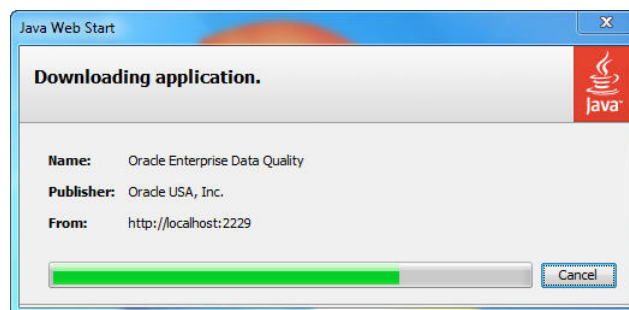
<http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/index.html>

`http://server:2229/datalens/datalens.jnlp`

`server` は、Oracle DataLens Server のホスト名です。

注意： アプリケーション・サーバーに対して 2229 以外のポート番号を設定している場合は、そのポート番号を次の URL 内で使用して Oracle DataLens Server にアクセスし、クライアント・アプリケーションをダウンロードする必要があります。

アプリケーションのダウンロードと検証が開始されます。



注意： .jnlp ファイルがプログラムに関連付けられていないことを示す
ファイル・ダウンロード・メッセージが表示された場合は、サポートされて
 いる JRE がインストールされていません。「**Cancel**」をクリックしてステッ
 プ 1 に戻ります。

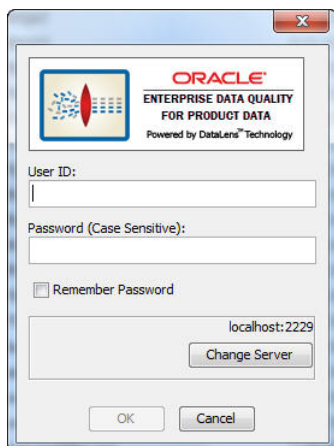
検証が完了すると、インストールが開始されます。Enterprise DQ for Product ファイルは
 信頼できるソースによってデジタル署名されているため、次のセキュリティ警告が表示さ
 れます。



ヒント： このセキュリティ・ダイアログが今後表示されないようにするに
 は、「**Always trust content from this publisher**」チェック・ボックスを選択
 します。

4. 「**Run**」をクリックしてインストールを完了します。

Oracle Enterprise Data Quality for Product Data のログオン・ダイアログが表示されます。



Oracle DataLens Server へのログイン

Oracle DataLens Server にログイン、または現在ログインしているユーザーを変更し、データの変換に使用するサーバーを変更できます。

注意： サーバーへのログインは、すべてのジョブ処理アクティビティに対して行います。ログインは、ワークブック内のすべてのスプレッドシートに適用されます。別のログインを使用する場合は、「DataLens Tools」メニューの「Switch User」オプションを使用してください。完全に新規のワークブックを開き、別のユーザーとしてログインすることもできます。

ユーザーまたは Oracle DataLens Server を変更するには、「DataLens Tools」をクリックして、「Switch User...」を選択します。

「Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Login」ダイアログ・ボックスが表示されます。

ユーザーの切替

有効なユーザー名およびパスワードを入力し、「OK」をクリックします。「Remember Password」チェック・ボックスを選択すると、このユーザーとしてログオンするたびにパスワードを入力する必要がなくなります。

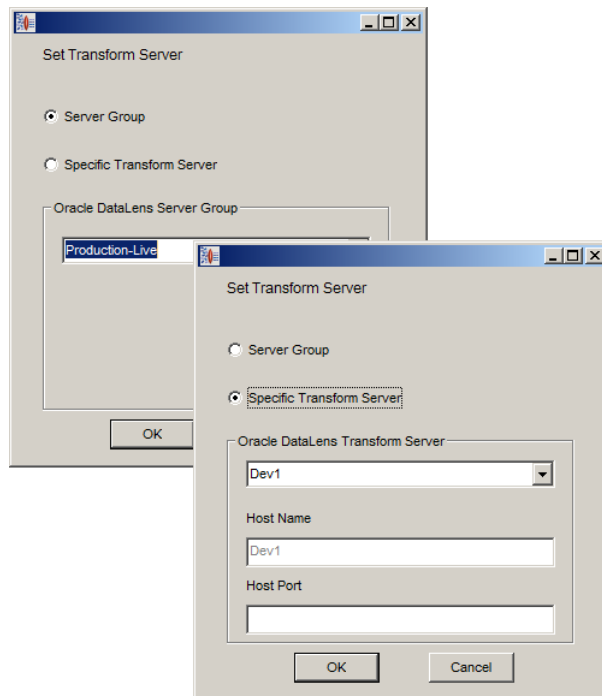
Oracle DataLens Administration Server の変更

「Change Server」ボタンをクリックします。データの変換に使用する Oracle DataLens Administration Server の名前または IP アドレスを入力します。サーバーがデフォルトのポート番号 2229 以外で実行されている場合は、正しいポート番号を入力してください。「OK」をクリックしてサーバーを変更します。

Oracle DataLens Server の変更

データの変換に使用するサーバー・グループまたは特定のサーバーを指定できます。

ユーザーまたは Oracle DataLens Server を変更するには、「DataLens Tools」をクリックして、「Set Transform Server...」を選択します。



次のいずれかを選択して、Oracle DataLens Transform Server を設定します。

Server Group

「Oracle DataLens Server Group」リストからサーバー・グループを選択し、「OK」をクリックしてサーバー・グループを変更します。

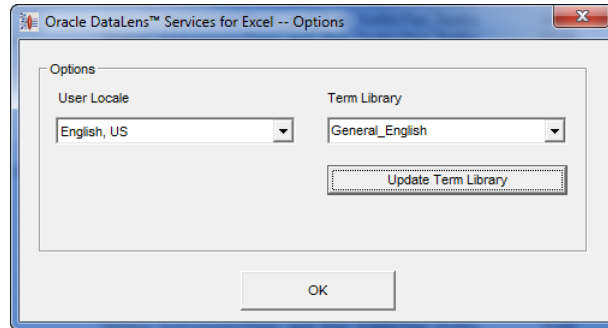
Specific Transform Server

「Oracle DataLens Server Group」リストからサーバーを選択します。サーバーがデフォルトのポート番号 2229 以外で実行されている場合は、正しいポート番号を入力してください。「OK」をクリックしてサーバーを変更します。

アプリケーションのオプションの構成

Oracle DataLens Server にログインしたユーザー用の翻訳に使用するロケールの構成、ロケールのローカリゼーション（翻訳）ファイルの同期化、用語ライブラリのインストールを実行できます。また、これらのオプションをデフォルト設定に戻すこともできます。

「Services for Excel」 ツールバーで、「DataLens Tools」をクリックし、「Options」を選択します。

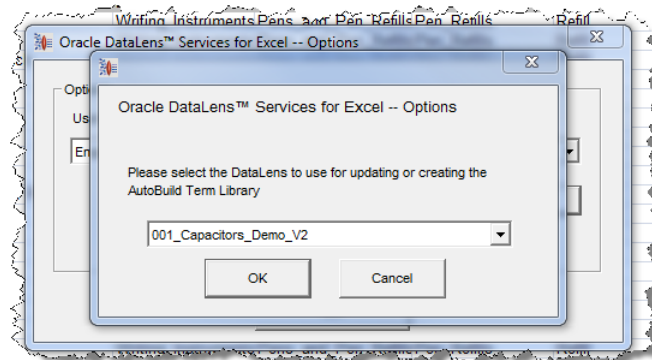


このダイアログは次のように使用します。

「Update Term Library」 ボタン

選択したデータ・レンズから用語を抽出することにより、AutoBuild で使用する用語ライブラリを作成または更新します。これは、新規のデータ・レンズで利用する必要があるデータ・レンズ内に大幅な改良（用語のバリエーションなど）がある場合などに役立ちます。

「Update Term Library」 をクリックし、既存の用語ライブラリの更新または用語ライブラリの新規作成に使用するデータ・レンズを選択します。



用語ライブラリが更新または作成され、新規の用語およびバリエーションが取り入れられます。AutoBuild プロセスでは、AutoBuilt データ・レンズを使用して、より簡単に新規データを処理できます。抽出された用語は大 / 小文字の区別がなく、すべてのアンダースコア、複数形および重複（同一のバリエーション）が削除されます。

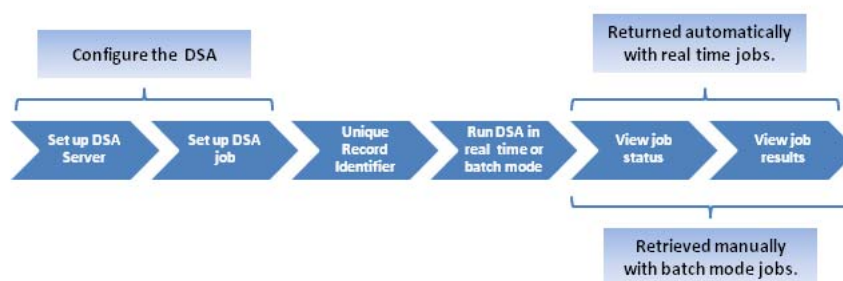
完了すると、更新されたすべての用語を詳述するレポートが表示され、ユーザーはこのレポートを確認および保存できます。

注意： データ・レンズ名が正しく表示されない場合（全角文字で発生する可能性があります）は、Windows の「地域と言語」オプションが正しく設定されていることを確認してください。詳細は、Windows のヘルプを参照してください。

3

データの変換

Services for Excel では、次の図に示すように、DSA を使用して単純なステップごとのプロセスに従ってデータ・レコードを変換できます。



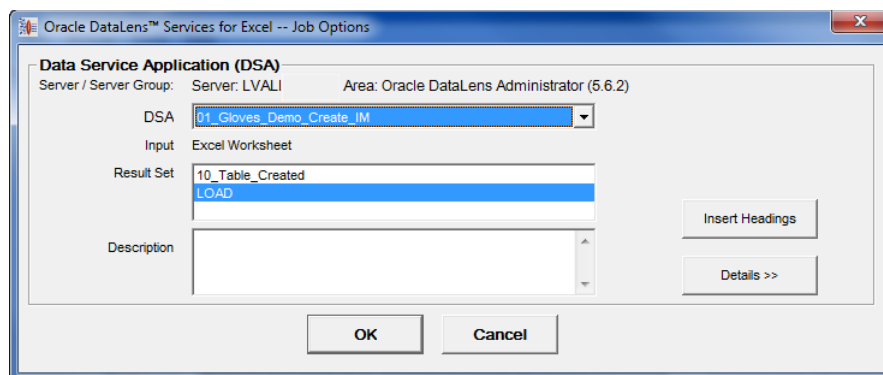
この章では、これらすべての手順について説明します。

DSA の構成

データ変換に DSA を使用するように各 Excel ワークシートを構成する必要があります。Excel ワークブックを保存すると、ワークシートの構成も非表示のワークシートとしてワークブックとともに保存され、Services for Excel アプリケーションで将来再使用できます。

開始するには、まず目的の Excel ワークブックを開いてから、DSA で処理するデータを含む特定のワークシートを選択します。

「Services for Excel」ツールバーで、「DataLens Tools」をクリックし、「Job Options...」オプションを選択します。



「Job Options」ダイアログ・ボックスが表示されます。

基本的なジョブ・オプションおよびサーバー情報が表示されます。

「DSA」リスト

このリストには、データ処理に使用できるサーバー上の DSA の名前が自動的に入力されます。使用可能な DSA のリストから様々な DSA を選択できます。

DSA は Application Studio で作成されます。DSA を Oracle DataLens Server にデプロイした後は、Services for Excel およびその他の外部アプリケーションで使用可能になります。DSA の使用は、Oracle DataLens Server Web ページおよび Application Studio を使用して、特定のユーザーに制限できます。制限付きの DSA を含め、すべての DSA は「DSA」リストに表示されます。制限付きの DSA を選択し、その実行権限がない場合は、データ・レコードの処理を試行するとエラーが表示され、ジョブは作成されません。DSA の制限方法の詳細は、Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Application Studio リファレンス・ガイドおよび Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Oracle DataLens Server 管理者ガイドを参照してください。

注意： DSA 名が正しく表示されない場合（全角文字で発生する可能性があります）は、Windows の「地域と言語」オプションが正しく設定されていることを確認してください。詳細は、Windows のヘルプを参照してください。

「Result Set」リスト

このリストは自動的に入力され、結果セットと呼ばれる DSA 出力がそれぞれ表示されます。結果セットを選択すると、「Result Set for Output」セクションに表示される情報およびセクション・タイトルが変わります。

「Description」フィールド

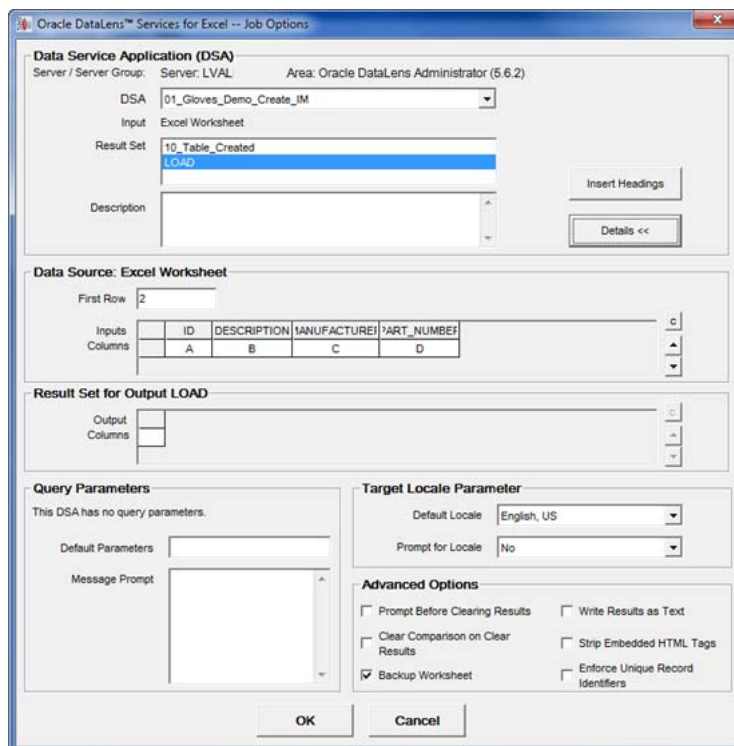
データの処理に使用する DSA の説明が表示される情報フィールドです。DSA に対する説明がない場合は空欄になります。

「Insert Headings」ボタン

このボタンは、選択した DSA の入力フィールドおよび出力フィールドに対応するオープンなスプレッドシートにヘッダーを挿入します。スプレッドシートにヘッダーが表示されていた場合も、このヘッダーで上書きされます。

「Details」 ボタン

その他のジョブ・オプションはすべてデフォルト値で初期化され、通常はユーザーが注目する必要はありませんが、「Details」>> をクリックすると変更できます。



変更可能なオプションは次のとおりです。

「Data Source:」 セクション

データ・ソースのタイプがこのセクションのタイトルの一部として表示され、選択した DSA のプロパティに基づいた情報が表示されます。データ・ソースは Excel またはファイル入力であるか、または DSA によって直接生成できます。データ・ソースが DSA の場合、データベースや XML ファイルなど、外部データ・ソースからのデータが使用される可能性があります。この例では、「Data Source: Excel Worksheet」というタイトルによって、データ・ソースが Excel であることが示されています。

「First Row」 フィールド

このフィールドでは、有効な Excel の行が 1 つ指定され、入力データの開始点を表します。DSA はこの行から始まる Excel 入力列を読み取ります。

「Input Columns」 表

この表には、処理のために Oracle DataLens Server に送信される Excel 列の編集可能リストが自動的に入力されます。有効な Excel 列名のリストです。入力は DSA からの予期入力フィールドで、列名は Excel のアルファベット列です。上の図では、「ID」、「DESCRIPTION」、「MANUFACTURER」および「PART_NUMBER」に、「A」、「B」、「C」および「D」列が対応しています。

注意： デフォルトの Excel 列リストは入力フィールドと同じ番号を持ち、A から始まるアルファベット順に並んでいます。

自動的に割り当てられた列の文字を編集するには、表で特定の列の文字をクリックし、「Backspace」をクリックしてアクティブな列の文字を削除してから、有効な Excel 列の文字を 1 つ以上新規入力します。キーボードの矢印キーを使用して、左から右へおよび右から左へとセル間を移動できます。

表の右側にある矢印ボタンを使用すると、列すべてをグループとして右または左に移動できます。割り当てられた列の文字は、表の右側にある矢印の上の「clear」ボタンを選択すると、一度にすべてクリアできます。

これらの列を移動または編集することにより、Excel ワークシート内の列が、選択した DSA で予期される入力データ列と一致していることを確認できます。

「Result Set for Output」セクション

選択した結果セットが、このセクションのタイトルの一部として表示されます。この例では、「Result Set for Output LOAD」というタイトルによって、「LOAD」結果セットが選択されたことが示されています。

「Output Columns」表

この表には、DSA からの出力が挿入される Excel 列の編集可能な表が自動的に入力されます。選択した DSA から取得される有効な Excel 列名のリストです。特別な 'Output' 結果セットを選択すると、データ・ソースの出力列の文字を前述したとおりに編集できます。'Output' 結果セットは、入力ワークシートに直接書き戻されます。

「Query Parameters」セクション

このセクションには、DSA 問合せパラメータ・オプションが含まれます。

「Default Parameters」フィールド

DSA がデータベース問合せから入力を受け取り、その問合せに対してユーザーが 1 つ以上のパラメータを指定する必要がある場合に使用します。

複数のデフォルト・パラメータを入力するには、パイプ記号 (|) を使用してパラメータのリストを区切ります。パイプ記号の前後に余分なスペースは挿入しないでください。

「Message Prompt」フィールド

実行時にユーザーがデータベース問合せパラメータを要求されたときに表示するヘルプ・メッセージを入力します。メッセージ・プロンプトを使用して、ユーザーに予期されるパラメータおよびその有効な値を通知できます。

「Target Locale Parameter」セクション

このセクションには言語翻訳オプションが含まれます。

「Default Locale」リスト

DSA で実行時言語翻訳設定が必要な場合、デフォルトのロケールが使用されます。使用可能なロケールのリストから別のロケールを選択することもできます。

「Prompt for Locale」リスト

DSA に実行時翻訳設定がある場合に使用するリストで、ユーザーがこのパラメータを「Yes」に設定すると、個別に実行される翻訳ロケールを選択できます。「Yes」に設定すると、ユーザーは各ジョブのターゲット・ロケールの指定を求められます。このパラメータを「No」に設定すると、ユーザーにプロンプトは表示されません。

「Advanced Options」セクション

このセクションには詳細なジョブ・オプションが含まれます。

「Prompt Before Clearing Results」チェック・ボックス

ジョブの実行に先立ち、結果をクリアする前に確認ダイアログを表示します。デフォルトでは選択解除されています。

「Clear Comparison on Clear Results」チェック・ボックス

回帰テストを作成する際に、比較をクリアします。デフォルトではこの設定は選択解除されています。

「Backup Worksheet」チェック・ボックス

ジョブ結果で上書きする前に、ワークシートのバックアップ・コピーを作成します。デフォルトではこの設定は選択解除されています。

「Write Results as Text」 チェック・ボックス

Excel の「文字列」セル書式を使用して、すべての DSA 結果を Excel に書き込みます。たとえば、この機能を使用すると、Excel のオートフォーマット機能によって割合や部品番号が日付に変換されたり、先行するゼロが消去されたりするのを防ぐことができます。

「Strip Embedded HTML Tags」 チェック・ボックス

製品データによく見られる埋込み HTML タグを外します。この機能を使用しても、完全な HTML Web ページのタグは外されません。たとえば、この機能では、データベースに保存された製品データ内部によく見られる HTML 改行タグやリスト・タグが削除されます。

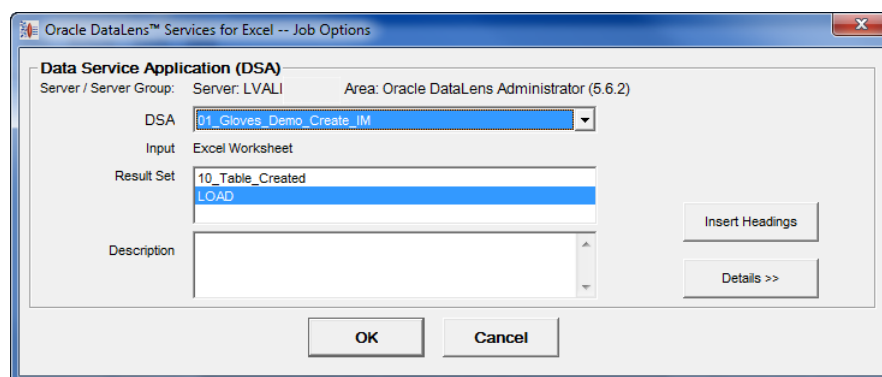
「Enforce Unique Record Identifiers」 チェック・ボックス

列 A に一意の識別子が含まれていることをジョブの実行前に検証し、ジョブ・エラーを防止します。

DSA ジョブの設定

DSA を設定するには、次の手順に従ってください。

1. Excel ワークブックを開き、目的のデータを含む Excel ワークシートに関連付けられたタブを選択します。
2. 「Services for Excel」 ツールバーで、「DataLens Tools」 をクリックし、「Job Options...」を選択します。



3. 使用する DSA をリストから選択します。
データ・ソースはシステムによって自動的に入力されます。DSA を選択すると、入力列および出力列も自動的に入力されます。
4. このタブまたは「Advanced Settings」タブで、その他のオプションを変更します。
5. いずれかのタブで「OK」を選択し、変更を受け入れます。
6. Excel ワークブックを保存します。

アクティブなワークブックで DSA 構成が保存されました。この構成は、このワークブックを次回開いたときにも使用できます。

一意のレコード識別子

レコード・データが DSA を通してルーティングされる際に、レコードが DSA によって様々な出力ステップにルーティングされる場合があります。出力の中には、製品の専門家が確認する必要がある例外も含まれています。また、エンタープライズ内で本番使用の準備が整った出力レコード・セットもあり、複数の異なるエンタープライズ・アプリケーションを対象にしている場合もあります。

DSA を通過するレコードを効果的に追跡するために、各レコードには必ず一意識別子を付与する必要があります。Services for Excel アプリケーションでは、入力データの最初の列（Excel では列 'A' とも呼ばれる）に一意識別子が含まれていると仮定します。

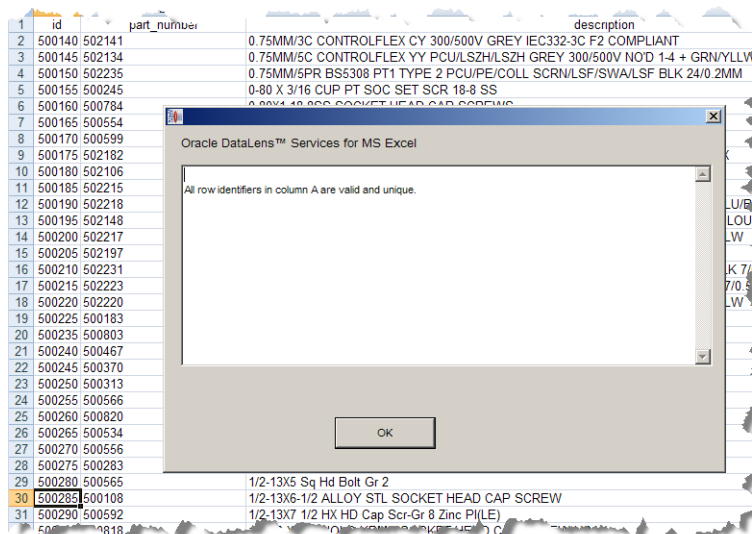
一意識別子列の作成

Services for Excel アドインを使用すると、一意識別子列が存在しない場合に、この列を簡単に追加できます。「Services for Excel」ツールバーで、「Jobs」をクリックし、「Insert Line Item Id Column」を選択します。既存のデータ列の左側に新規の列 A が自動的に挿入され、レコード識別子の一意のセットが列 A に次のように挿入されます。

1	A	B	C	D
1	Manufacturer	Part Number	Description	
2	Avery	AVE49560	Mechanical Pencil 5MM Emerald Barrel	
3	Bic	BICFRC21BE	Pencil 5MM Green Barrel Automatic	
4	Cross	BICFRC21BK	Ballpoint Pen Medium Point Black Barrel Black Ink	
5	Eversharp	CRO80041	Ballpoint Pen Refill Fine Point Blue Ink 2 / Pack	
6	NIB-National Industries for the Blind	CRO800421	Ballpoint Pen Refill Med Pt Black Ink 2 / Pk	
7	Mont Blanc	CRO800422	Ballpoint Pen Refill Medi. Point black. ink 2 / Pack	
8	Papermate	CRO800423	Ballpoint Pen Refill Point Mdm Black Ink	
9	Parker Pen	CRO800425	Ballpoint Pen Refill mdm point .7mm ink Black	
10	Pentel	CRO80045	China Mlkr Green Ink 12 / Box	
11	Pilot	CRO81002	China Markers red ink	
12	Sanford	CRO81012	China Markers White ink	
13	Waterman	CRO8511	China Mlkr yellow ink	
14	Zebra Pen	CRO85112	Chisel Point Highlighter Turquoise ink	
15	United Stationers	CRO8512	Comfort Grip Retractable Ballpoint Pen medium Point Bl	
16	Autopoint	CF 085122	Comfort Grip Retractable Ballpoint Pen Medium Point F	

データにすでに一意識別子列がある場合は、その列がスプレッドシート内で最初のデータ列になるように移動してください。

また、確実に正しいレコード処理が行われるように、列 A の識別子の一意性をチェックできます。「Services for Excel」ツールバーで、「Jobs」をクリックし、「Fill-in Line Item Ids」を選択します。



レコード識別子の一意性に関するレポートが表示されます。このレポートをテキスト・ファイルに保存するには、「**Save Report**」をクリックし、ファイル名を入力します。

ID の重複がある場合、**Services for Excel** アプリケーションで重複を修正するには「**OK**」をクリックし、レコードを変更せずにダイアログ・ボックスを終了するには「**Cancel**」をクリックします。重複した識別子を修正する他に、アプリケーションでは **null** または欠落した識別子も報告されます。

注意： 列 A で検出された一意識別子の最大値が、追加の一意識別子を作成する開始点として使用されます。

必要に応じて、「**Job Options**」ダイアログから一意の品目識別子を付与することもできます。詳細は、3-4 ページの「**Advanced Options** セクション」を参照してください。

DSA 出力

DSA 出力に関連付けられた各レコード・セットは、別個の Excel スプレッドシートに書き込まれ、結果セットと呼ばれます。各 Excel ワークシートには DSA 出力ステップと同じ名前が付けられます。「**Process Job**」または「**Get Job Results**」のどちらから結果を取得した場合でも、新規の結果は対応するスプレッドシートにある以前の結果を上書きします。行 1 のワークシート・ヘッダーは、DSA 出力列から自動的に作成されます。結果が取得されるたびにデータ値は上書きされますが、ワークシートの書式は保存されるため、追加した書式は失われません。

Output という名前の DSA 出力

Services for Excel アプリケーションでは、**Output** という名前の DSA 出力は、他の名前の出力ステップとは若干扱いが異なります。**Output** ステップにルーティングされた DSA レコードは、入力ワークシートの列に書き込まれます。デフォルトで、これらの結果レコード内のデータは、入力列の右側の列に書き込まれます。つまり、結果データは対応する各入力レコードまたは行に追加されることとなります。

DSA の実行によるデータ・レコードの処理

DSA ジョブは、Oracle DataLens Server で即時に実行されます。ジョブは次のように実行されます。

1. アクティブなワークシート（このセクションの例では列 A および B）で検出された入力データを構成済の Oracle DataLens Server に送信して処理します。
2. ジョブ完了後に、サーバーから変換結果を取得します。
3. 取得した結果を DSA で指定された Excel ワークシートに書き込みます。

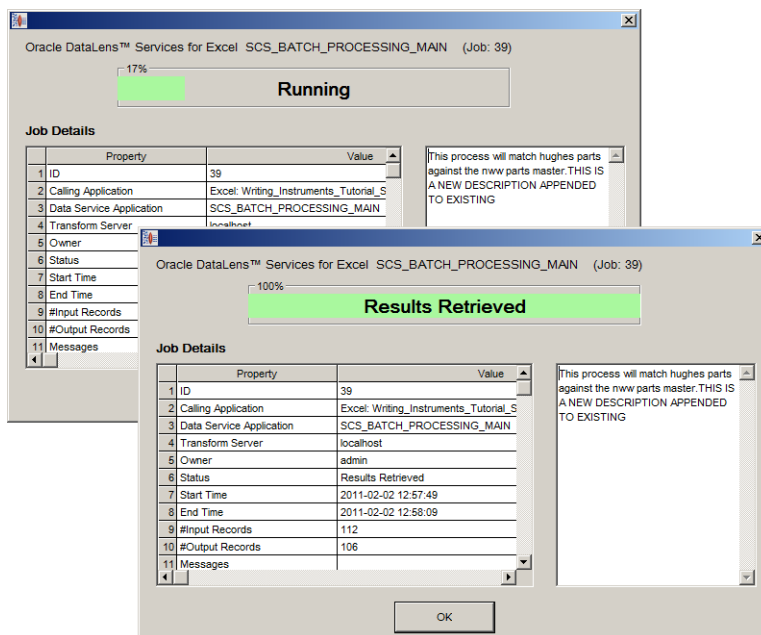
ジョブへの入力に使用されるワークシートの列、およびジョブの完了後に結果が戻される Excel ワークブックの場所は、すべて DSA の設計によって決定されます。詳細は、Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Application Studio リファレンス・ガイドを参照してください。

DSA を使用してデータ・レコードを処理する方法には、リアルタイム（同期）およびバッチ・モード（非同期）の 2 種類あります。この項では、これら両方の DSA 実行方法について説明します。

リアルタイム・レコード処理の使用

構成済の DSA を実行するには、ツールバーの「Run Job」ボタンをクリックします。

データ・レコードの処理時にジョブ・ステータス・メッセージが表示され、次のように進捗および完了状況が通知されます。



ジョブが終了して結果を取得したら、ジョブ統計を確認します。終了したら「OK」をクリックします。変換されたデータが、DSA で定義されたように Excel ワークブックに追加されます。

注意： ジョブの完了は、'Complete' ではなく 'Results Retrieved' の表示によって通知されます。大量のデータを処理するジョブでは、すべての結果を取得してジョブを終了するまでに時間がかかります。

次の例では、入力データ・レコードには一意の ID および説明が含まれています。

1	A	B	C
1	Id	Description	
2	W11	Mechanical Pencil .5MM Emerald Barrel	
3	W12	Pencil .5MM Green Barrel Automatic	
4	W16	Ballpoint Pen Medium Point Black Barrel Black Ink	
5	W17	Ballpoint Pen Refill Fine Point Blue Ink 2 / Pack	
6	W18	Ballpoint Pen Refill Med Pt Black Ink 2 / Pk	
7	W19	Ballpoint Pen Refill Medi, Point black, ink 2 / Pack	
8	W10	Ballpoint Pen Refill Point Mdm Black Ink	
9	W111	Ballpoint Pen Refill mdm point .7mm ink Black	
10	W112	China Mkr Green Ink 12 / Box	
11	W113	China Markers red ink	
12	W114	China Markers White ink	
13	W115	China Mkr yellow ink	
14	W116	Chisel Point Highlighter Turquoise ink	
15	W117	Comfort Grip Retractable Ballpoint Pen medium Point Blue ink	
16	W118	Comfort Grip Retractable Ballpoint Pen Medium Point Red Ink	
17	W119	Countertop pen refill Medium Point black Ink	
18	W120	Dry-Erase Chisel Point Markers Black Ink 2 / Set	
19	W121	Dry-Erase Chisel Tip Markers Assorted 4 / Set	
20	W122	Security Pen Refills Medium Point Blue Ink	
21	W123	Counter Pen Refills Medium Point Blue Ink	
22	W124	Dry-Erase Marker Bullet Point Blue Ink	
23	W125	Dry-Erase Marker Fine Point Blue Ink	
24	W126	Dry Erase Markers Chisel Tip Red Ink	
25	W127	Retractable Ballpoint Pen Non-Refillable Black Ink	
26	W128	Erasable Ink Ballpoint Pen Medi Point Blue Barrel/Blue Ink	
27	W129	Felt Tip Pen Extra-Fine Point Translucent blue Barrel Purple Ink	
28	W130	Felt Tip Pen Extra-Fine Point Translucent black Barrel Red Ink	
29	W131	Highlighter Chisel Tip Fluorescent Purple	
30	W132	Highlighter Chisel Tip Fluorescent Yellow	
31	W133	Highlighter Chisel Tip Orange	
32	W134	Highlighter Chisel Tip Pink	
33	W135	Highlighter Chisel Tip Yellow	
34	W136	Fine Tip Permanent Marker 1.0mm Lime Ink	
35	W137	Gel Grip Rollerball Pen Refill 1MM Red	
36	W138	Gel Ink Roller Ball Pen Refills .7MM Black Ink 2 / Pack	
37	W139	Automatic Pencil with Eraser/Metal Clip .5MM Black Cap	
38	W140	Automatic Pencil with Eraser/Metal Clip .5MM Blue Cap	
39	W141	Automatic Pencil .5MM Kryptonite Green Barrel	

このデータの処理後は、結果が次のように新規のワークシートに配置されます。

1	A	B	C	D	E	F	G
1	ITUI	Batch Type	Type	Match Status	Org	Source System	Batch Id
2	W11	Mechanical Pencil .5MM Emerald Barrel	EXC	REPROCESS			
3	W12	Pencil .5MM Green Barrel Automatic	EXC	REPROCESS			
4	W16	Ballpoint Pen Medium Point Black Barrel Black Ink	EXC	REPROCESS			
5	W17	Ballpoint Pen Refill Fine Point Blue Ink 2 / Pack	EXC	REPROCESS			
6	W18	Ballpoint Pen Refill Med Pt Black Ink 2 / Pk	EXC	REPROCESS			
7	W19	Ballpoint Pen Refill Medi, Point black, ink 2 / Pack	EXC	REPROCESS			
8	W10	Ballpoint Pen Refill Point Mdm Black Ink	EXC	REPROCESS			
9	W111	Ballpoint Pen Refill mdm point .7mm ink Black	EXC	REPROCESS			
10	W112	China Mkr Green Ink 12 / Box	EXC	REPROCESS			
11	W113	China Markers red ink	EXC	REPROCESS			
12	W114	China Markers White ink	EXC	REPROCESS			
13	W115	China Mkr yellow ink	EXC	REPROCESS			
14	W116	Chisel Point Highlighter Turquoise ink	EXC	REPROCESS			
15	W117	Comfort Grip Retractable Ballpoint Pen medium Point Blue ink	EXC	REPROCESS			
16	W118	Comfort Grip Retractable Ballpoint Pen Medium Point Red Ink	EXC	REPROCESS			
17	W119	Countertop pen refill Medium Point black Ink	EXC	REPROCESS			
18	W120	Dry-Erase Chisel Point Markers Black Ink 2 / Set	EXC	REPROCESS			
19	W121	Dry-Erase Chisel Tip Markers Assorted 4 / Set	EXC	REPROCESS			
20	W122	Security Pen Refills Medium Point Blue Ink	EXC	REPROCESS			
21	W123	Counter Pen Refills Medium Point Blue Ink	EXC	REPROCESS			
22	W124	Dry-Erase Marker Bullet Point Blue Ink	EXC	REPROCESS			
23	W125	Dry-Erase Marker Fine Point Blue Ink	EXC	REPROCESS			
24	W126	Dry Erase Markers Chisel Tip Red Ink	EXC	REPROCESS			
25	W127	Retractable Ballpoint Pen Non-Refillable Black Ink	EXC	REPROCESS			
26	W128	Erasable Ink Ballpoint Pen Medi Point Blue Barrel/Blue Ink	EXC	REPROCESS			
27	W129	Felt Tip Pen Extra-Fine Point Translucent blue Barrel Purple Ink	EXC	REPROCESS			
28	W130	Felt Tip Pen Extra-Fine Point Translucent black Barrel Red Ink	EXC	REPROCESS			
29	W131	Highlighter Chisel Tip Fluorescent Purple	EXC	REPROCESS			
30	W132	Highlighter Chisel Tip Fluorescent Yellow	EXC	REPROCESS			
31	W133	Highlighter Chisel Tip Orange	EXC	REPROCESS			
32	W134	Highlighter Chisel Tip Pink	EXC	REPROCESS			
33	W135	Highlighter Chisel Tip Yellow	EXC	REPROCESS			
34	W136	Fine Tip Permanent Marker 1.0mm Lime Ink	EXC	REPROCESS			
35	W137	Gel Grip Rollerball Pen Refill 1MM Red	EXC	REPROCESS			
36	W138	Gel Ink Roller Ball Pen Refills .7MM Black Ink 2 / Pack	EXC	REPROCESS			
37	W139	Automatic Pencil with Eraser/Metal Clip .5MM Black Cap	EXC	REPROCESS			
38	W140	Automatic Pencil with Eraser/Metal Clip .5MM Blue Cap	EXC	REPROCESS			
39	W141	Automatic Pencil .5MM Kryptonite Green Barrel	EXC	REPROCESS			

Input Data Worksheet Result Set Worksheets

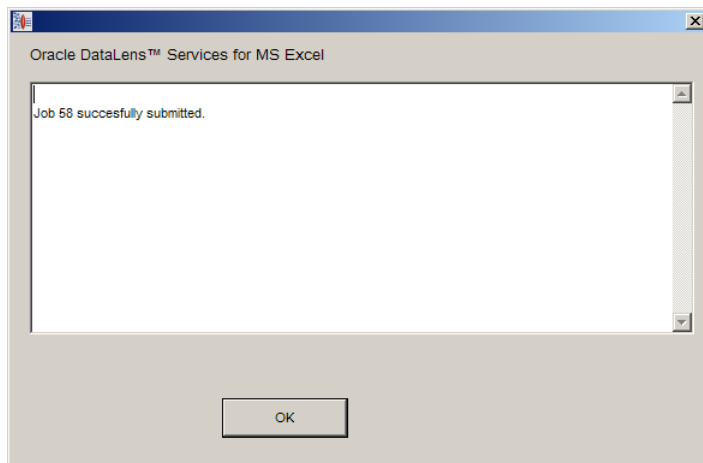
元の入力データが変換されて例外が特定され、後続の列には抽出された属性情報が表示されます。

バッチ・モード・レコード処理の使用

構成済の DSA を実行するには、「Services for Excel」ツールバーの「Submit Job」ボタンをクリックします。

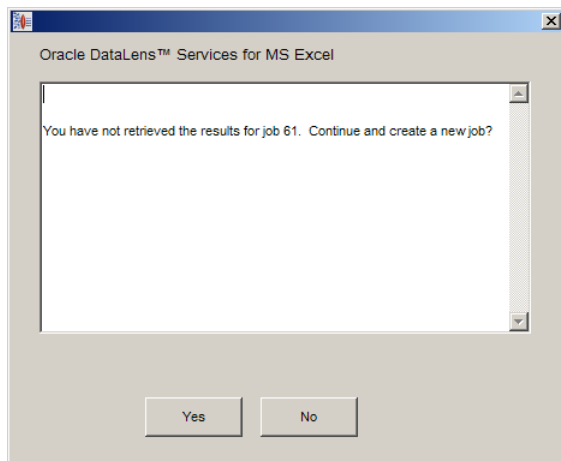
バッチ・モード・ジョブの実行中でも、他のタスクで Excel を使用できます。ジョブの結果は後で取得できます。ジョブの送信後は、Excel ワークブックを保存して Excel を閉じます。後で同じワークブックに戻ると、ジョブ結果を取得できます。

「Submit Job」ボタンを使用してジョブを開始すると、まず入力レコードが Excel から読み込まれ、次にジョブが Oracle DataLens Server に送信されて処理されます。大量のデータがある場合、データ読取りの進捗状況を示すステータス・メッセージが表示されます。ジョブの実行が Oracle DataLens Server で正常に開始されると、次のステータス・メッセージが表示されます。



ジョブのステータスを確認するには、3-11 ページの「ジョブ・ステータスの表示」で説明されているジョブ・ステータスを表示してください。これらの結果はリアル・タイム・レコード処理と同様に表示されます。

リアルタイムでもバッチ・モードでも、データの再実行を試行する前にジョブ・ステータスを取得する必要があります。取得しないと、新規ジョブを作成して現在の結果を上書きするか、「No」をクリックして結果を確認するかの選択を求められます。



ヒント： Oracle DataLens Server Administration Web ページを使用してジョブ・ステータスを確認することもできます。詳細は、Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Oracle DataLens Server 管理者ガイドを参照してください。

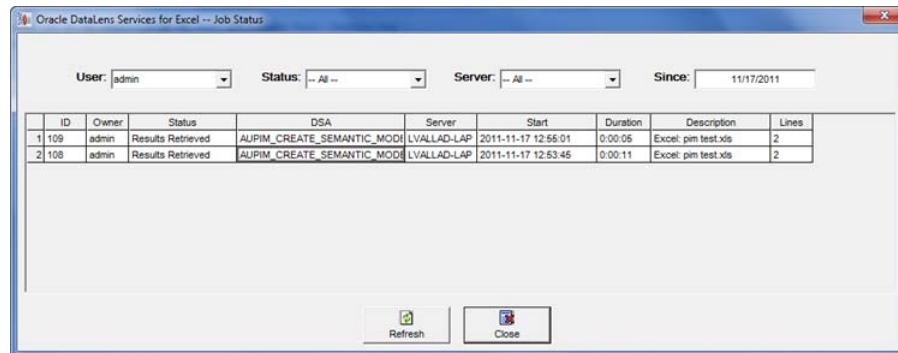
結果データの削除

各結果ワークシートからジョブ結果データをすべて一度にクリアできます。「**Services for Excel**」ツールバーで、「**DataLens Tools**」をクリックし、「**Clear Job Results**」を選択します。すべてのワークシート上のデータが削除されますが、ワークシートは残ります。

結果ワークシートをすべて削除するには、同じメニューから「**Remove All Result Worksheets**」オプションを使用してください。

ジョブ・ステータスの表示

Oracle DataLens Server に送信したすべてのジョブ（同期または非同期）のステータスを表示するには、「**Services for Excel**」ツールバーの「**Jobs**」ボタンをクリックし、「**Job Status...**」を選択します。



Services for Excel または Oracle DataLens Server で作成されたすべてのジョブが、保留中または失敗したジョブも含めて表示されます。デフォルトで、サーバーにログインしているユーザーのジョブのみが一覧表示されます。

表示は、「**User**」、「**Status**」、「**Server**」および「**Since**」リストを使用して変更できます。これらのコントロールによって、表示されるデータが選択に基づいてフィルタされます。たとえば、「**Since**」リストを使用すると、データ取得の開始点として設定する日付を変更できます。または、「**Status**」から「**Failed**」を選択すると、取得データからすべての失敗ジョブがフィルタされます。

ジョブが実行中の場合は、そのジョブを選択して「**Cancel**」をクリックすると中止できます。

「**Refresh**」ボタンを使用すると、サーバーから追加のジョブ・ステータス情報が取得され、ジョブ情報が再表示されます。

注意： DSA から処理ジョブ（同期または非同期）の結果が返されたときは、大量のデータを返すジョブの場合は特に、必ずデータを速やかに取得または削除してください。この処理に失敗すると、サーバー・メモリーを使い果たしたときに Oracle DataLens Server がクラッシュする可能性があります。メモリーは、取得されない多数の小さいジョブによって使い果たされる可能性があります。これは、サーバーに対して設定された DSA の最大メモリーまたはチャック・サイズより小さい各 DSA ジョブは、そのジョブが取得されるか、またはサーバーが再起動されるまでメモリー内に保持されるためです。これらの値の設定方法の詳細は、Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Oracle DataLens Server 管理者ガイドを参照してください。

データの高度な利用

この章では、次の内容を説明します。

- 4-2 ページの「[メタデータ・ファイルのロード](#)」
- 4-3 ページの「[データの変更およびグループ化](#)」
- 4-6 ページの「[回帰テストの使用](#)」
- 4-10 ページの「[データ・サンプリングの使用](#)」
- 4-11 ページの「[ソース・データのバックアップ](#)」
- 4-11 ページの「[AutoBuild アプリケーションの使用](#)」

メタデータ・ファイルのロード

Services for Excel のメタデータ・ファイルのロード機能を使用すると、類似する Excel ワークブックのデータ・レコードを単一のワークブックにマージできます。この機能は、各ファイルのデータを個別に処理するのではなく、DSA での処理用に単一のファイル・ソースを作成する上で非常に役立ちます。

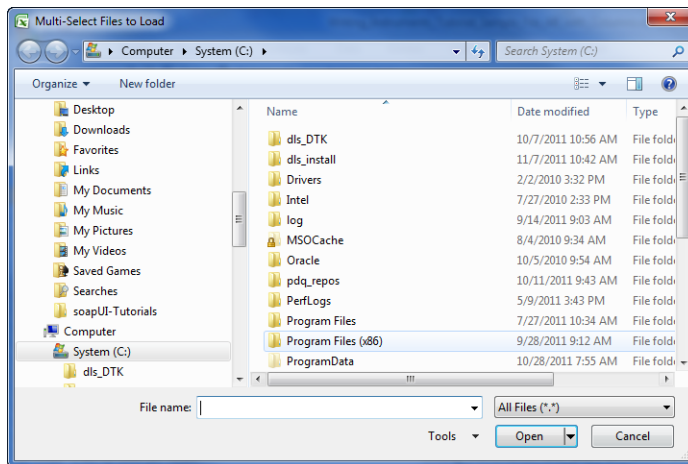
複数のソース・メタデータ Excel ファイルを、同じタイプの単一のターゲット Excel ファイルにマージできます。ファイル統合機能により、個別データ・ファイルのマージが直接的かつ簡単に実行できます。

開始する前に、次の手順を行ってください。

1. 統合するすべてのソース・ファイルが単一のフォルダに置かれていることを確認します。
2. ソース・ファイルのマージ先となる単一のターゲット・ファイルを作成します。
3. ターゲットの Excel ワークブック内に作成するワークシートの名前が、ソース・ワークシートの名前と正確に一致していることを確認してください。Excel ワークブックは、ターゲット・ワークシートの名前を使用してマージされます。ターゲット・ワークシートの名前と一致するすべてのソース・ワークシートがマージされます。ターゲット・ワークシートの名前と一致しないソース・ワークシートはすべて無視されます。
4. ターゲット・ワークブックを開きます。

ファイルを統合するには、「Services for Excel」ツールバーで「DataLens Tools」ボタンをクリックし、「Load Meta-Data Files...」を選択します。

デフォルトで、ソース・ファイルすべてで検出されたレコードが、Excel ターゲット・ファイルに追加されます。



統合対象のソース・ファイルを特定して選択するように求められます。[Shift] または [Ctrl+A] を使用して、連続している複数のファイルまたは連続していない複数のファイルをそれぞれ選択し、「Open」をクリックします。

進捗ダイアログに全体の進捗状況が表示されます。

データの変更およびグループ化

この項では、データを変更またはグループ化する方法を説明します。

列へのデータの入力

一意データの追加（「一意識別子列の作成」項を参照）に加えて、データをソース列に追加することもできます。この機能は、属性カテゴリ列にデータを追加する際に特に役立ちます（属性カテゴリ列には必ずデータが必要です）。データは選択したセルから下向きに入力されるため、列の最初のセルを選択すると最も効率的です。

列にデータを入力するには、開始点となるセルを選択します。選択したセルを右クリックして「DataLens Services」を選択してから、「Fill in Columns」を選択します。

request_id	source_desc	att1	att2	att3
200544	Highlighter Chisel Point Fluorescent Green	FLUORESCENT GREEN	CHISEL	
200544	Highlighter Chisel Point Fluorescent Green	FLUORESCENT GREEN	CHISEL	
200586	Refill Rollball Ink Ble	ROLLER BALL	BLUE	
200602	Ballpoint Pen Medium Point Black Barrel Black Ink	BLACK	MEDIUM	BLACK
200602	Ballpoint Pen Medium Point Black Barrel Blk Ink	BLACK	MEDIUM	BLACK
200602	Ballpoint Pen Medium Point Black Barrel Black Ink	BLACK	MEDIUM	BLACK
200606	Ballpoint Pen Refill Point Mdm Black Ink	BALLPOINT	BLACK	MEDIUM
200606	Ballpoint Pen Refill Point Mdm Black Ink	BALLPOINT	BLACK	MEDIUM
200606	Ballpoint Pen Rfl Point Mdm Black Ink	BALLPOINT	BLACK	MEDIUM
200606	Ballpoint Pen Refill Point Mdm Black Ink	BALLPOINT	BLACK	MEDIUM
200608	China Mrkr Green Ink 12 / Box	CHINA	GREEN	MEDIUM
200608	China Mrkr Green Ink 12 / Box	CHINA	GREEN	MEDIUM
200608	China Mrkr Green Ink 12 / Box	CHINA	GREEN	MEDIUM
200611	China Mrk yellow ink	CHINA	YELLOW	MEDIUM
200611	China Mrk yellow ink	CHINA	YELLOW	MEDIUM
200611	China Mrk yellow ink	CHINA	YELLOW	MEDIUM
200652	Sonnet Roller Ball Pen, Matte Black/Chrome Barrel, Black Ink	BLACK	YELLOW	
200652	Sonnet Roller Ball Pen, Matte Black/Chrome Barrel, Black Ink	BLACK	YELLOW	
200652	Sonnet Roller Ball Pen, Matte Black/Chrome Barrel, Black Ink	BLACK	YELLOW	
200652	Sonnet Roller Ball Pen, Matte Black/Chrome Barrel, Black Ink	BLACK	YELLOW	
200652	Sonnet Roller Ball Pen, Matte Black/Chrome Barrel, Black Ink	BLACK	YELLOW	
200652	Sonnet Roller Ball Pen, Matte Black/Chrome Barrel, Black Ink	BLACK	YELLOW	
200652	Sonnet Roller Ball Pen, Matte Black/Chrome Barrel, Black Ink	BLACK	YELLOW	
200652	Sonnet Roller Ball Pen, Matte Black/Chrome Barrel, Black Ink	BLACK	YELLOW	
200652	Sonnet Roller Ball Pen, Matte Black/Chrome Barrel, Black Ink	BLACK	YELLOW	
200652	Sonnet Roller Ball Pen, Matte Black/Chrome Barrel, Black Ink	BLACK	YELLOW	
200652	Sonnet Roller Ball Pen, Matte Black/Chrome Barrel, Black Ink	BLACK	YELLOW	
200683	China Mrkr Green Ink 12 / Box	CHINA	GREEN	
200683	China Mrkr Green Ink 12 / Box	CHINA	GREEN	
200683	China Mrkr Green Ink 12 / Box	CHINA	GREEN	
200689	Refillable Ballpoint Pen, Classic Black with 23K Gold-Plated Accents, Black Ink	BLACK	GREEN	
200689	Refillable Ballpoint Pen, Classic Black with 23K Gold-Plated Accents, Black Ink	BLACK	GREEN	
200689	Refillable Ballpoint Pen, Classic Black with 23K Gold-Plated Accents, Black Ink	BLACK	GREEN	
200689	Refillable Ballpoint Pen, Classic Black with 23K Gold-Plated Accents, Black Ink	BLACK	GREEN	
200689	Refillable Ballpoint Pen, Classic Black with 23K Gold-Plated Accents, Black Ink	BLACK	GREEN	
200689	Refillable Ballpoint Pen, Classic Black with 23K Gold-Plated Accents, Black Ink	BLACK	GREEN	
200689	Refillable Ballpoint Pen, Classic Black with 23K Gold-Plated Accents, Black Ink	BLACK	GREEN	
200689	Refillable Ballpoint Pen, Classic Black with 23K Gold-Plated Accents, Black Ink	BLACK	GREEN	
200689	Refillable Ballpoint Pen, Classic Black with 23K Gold-Plated Accents, Black Ink	BLACK	GREEN	
200689	Refillable Ballpoint Pen, Classic Black with 23K Gold-Plated Accents, Black Ink	BLACK	GREEN	
200689	Refillable Ballpoint Pen, Classic Black with 23K Gold-Plated Accents, Black Ink	BLACK	GREEN	

上の例では、列の最初のセルを選択してから入力機能を使用することにより、属性カテゴリ列に入力されています。この機能は、他のセルのデータに基づいてセルにデータを入力するため、Excelの類似機能とほぼ同様に動作します。

文字の分析および置換

制御文字、16進数値またはHTMLタグがデータ・レコードに含まれている場合は、データを確実に正しく処理するために、これらの文字を削除することが有効です。これらの文字はExcelで間違っ解釈されることがあるため、削除することが重要です。

文字セットの分析

Services for Excel を使用してデータ・レコードを検証し、制御文字または Unicode スペースがあるかどうかを確認できます。

この操作を行うには、分析するデータ・レコードを選択して右クリックし、「DataLens Services」、「Character Analysis and Replacement」、「Analyze Character Set」の順に選択します。

選択したセルが即時に検証され、終了するとレポートが表示されます。

注意： ワークシート全体を選択すると、Services for Excel のコンテキスト依存メニューはアクティブになりません。

制御文字の置換

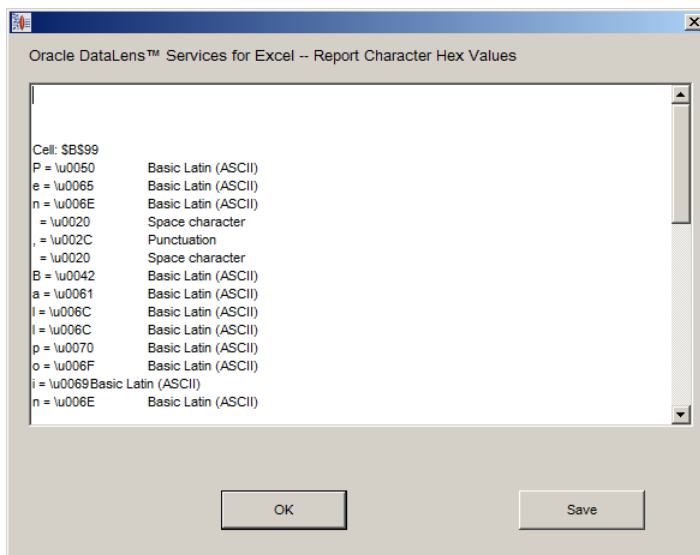
制御文字を置換するには、分析するデータ・レコードを選択して右クリックし、「DataLens Services」、「Character Analysis and Replacement」、「Replace Control Characters」の順に選択します。

選択したセルが即時に検証され、検出された制御文字がスペースに置換され、終了するとレポートが表示されます。

文字 16 進値の検索

16進値を検索してソース・データを適切に変更するには、分析するデータ・レコードを選択して右クリックし、「DataLens Services」、「Character Analysis and Replacement」、「Report Character Hex Values」の順に選択します。

ダブルバイト言語や制御文字など、相当する ASCII 文字がないために文字が非表示になっている場合に 16進値をレビューする必要があります。



選択したセルが即時に検証され、検出された 16 進値がレポートされます。このレポートをフォルダに保存して、16 進値の修正に使用できます。保存されたレポートは、次のようになります。

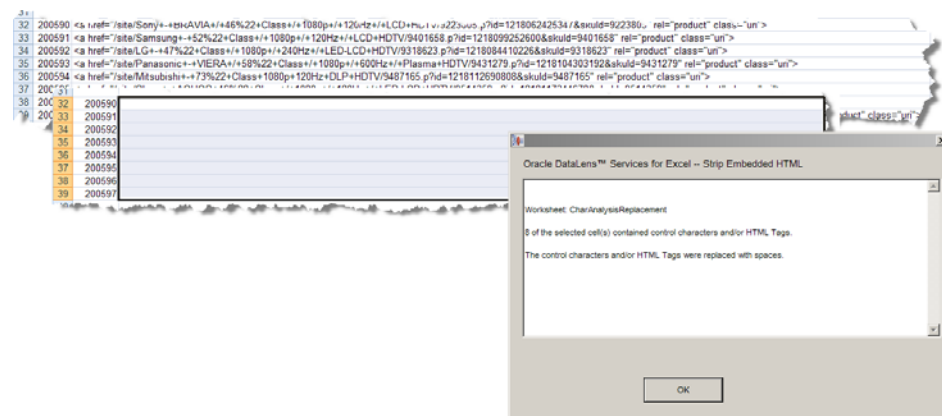
```
Cell: $B$3
R = ¥u0052Basic Latin (ASCII)
E = ¥u0045Basic Latin (ASCII)
S = ¥u0053Basic Latin (ASCII)
P = ¥u0050Basic Latin (ASCII)
C = ¥u0043Basic Latin (ASCII)
F = ¥u0046Basic Latin (ASCII)
 = ¥u0020Space character
A = ¥u0041Basic Latin (ASCII)
X = ¥u0058Basic Latin (ASCII)
3 = ¥u0033Basic Latin (ASCII)
0 = ¥u0030Basic Latin (ASCII)
0 = ¥u0030Basic Latin (ASCII)
O = ¥u004FBasic Latin (ASCII)
H = ¥u0048Basic Latin (ASCII)
M = ¥u004DBasic Latin (ASCII)
1 = ¥u0031Basic Latin (ASCII)
/ = ¥u002F Punctuation
```

16 進値を含むセル、および各 16 進値が特定されます。

埋込み HTML タグの削除

データに HTML タグが含まれている場合、データ処理を正常に行うために、すべてのタグを削除してください。タグおよびそのコンテンツ（Java スクリプト、メタデータ、エスケープ文字など）をデータから外す必要があります。

すべての埋込み HTML タグおよび制御文字を削除するには、HTML タグが含まれている可能性があるデータ・レコード・セルを選択します。選択したセルを右クリックし、「DataLens Services」、「Character Analysis and Replacement」、「Strip Embedded HTML Tags from selected cells」の順に選択します。



選択したセルは HTML タグがないかどうか解析され、タグが見つかった場合は削除されます。情報メッセージが表示され、スペースに置換されたデータが含まれていたセルの数が詳述されます。

回帰テストの使用

回帰テストは、データ・レンズまたは DSA への最近の変更に基づいて、以前に許容された結果に予期せぬ変更が加えられていないことを確認するために実行します。ソース・データに変更が加えられた場合は、この重要なステップを実行する必要があります。

回帰セットは、作成元のソース・データ・ワークシートに関連付けられます。通常、回帰ベースは、1000 以上のレコードから構成される大規模なものが適しています。データ・レンズまたは DSA を変更するたびに回帰セットを再作成して、最近のデータ・レンズまたは DSA の変更による影響がないことを確認する必要があります。

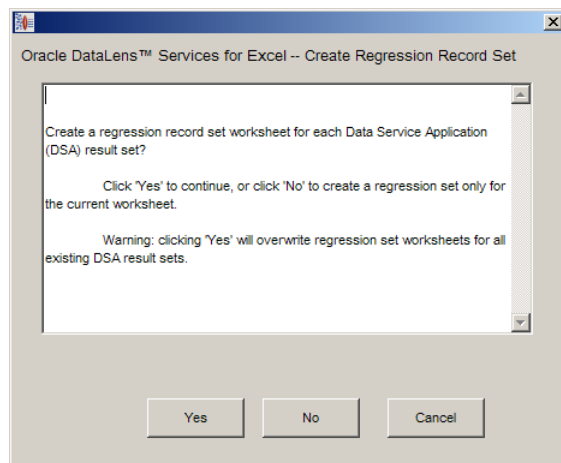
回帰セットの作成または更新

回帰テストの最初のステップは、データの回帰セットの作成です。ソース・データまたは任意の結果ワークシートの回帰セットを作成できます。この操作を行うには、「**Services for Excel**」ツールバーで、「**Test**」をクリックし、「**Create Regression Set**」を選択します。

33	200626	cross inc	PEN C505B	Mirado Black v.
34	200632	pntl inc	PEN C525B	Pre-Sharpene
35	200633	pilott	PEN C525H	American Woo
36	200636	zerba pen	PEN CF7P2	Pencil, W/Wo
37	200637	United Stationers	PEN CF9P2	Writing Pencils
38	200638	Autopoint	PEN PPB5	Writing Pencils
39	200640	Staedtlor	PEN PPR5	Blackstonian Pe

回帰セットが自動的に作成され、ソース・データ・ワークシートと同じ名前に `_RSET` という接尾辞が付いた名前の新規ワークシートに保存されます。

既存の回帰セットの更新にも、これと同じプロセスを使用します。既存の回帰レコード・セットが検出された場合は、次の問合せが表示されます。

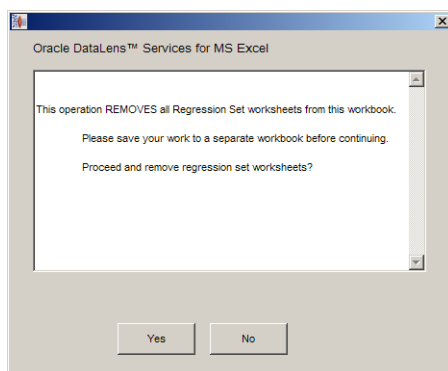


アクティブなワークシートおよびすべての結果ワークシートの既存の回帰レコード・セットを上書き（または作成）する場合は「**Yes**」を選択し、アクティブなワークシートの回帰セットのみを上書きする場合は「**No**」を選択します。いずれのワークシートも変更しないで終了する場合は「**Cancel**」ボタンを使用してください。

次の項で説明するデータ比較機能を使用して、ソース・データと回帰データを比較できます。

回帰セット・ワークシートの削除

すべての回帰セット・ワークシートを一度に削除し、新規セットを作成できます。この操作を行うには、「Services for Excel」ツールバーで、「Test」をクリックし、「Remove All Regression Sets」を選択します。

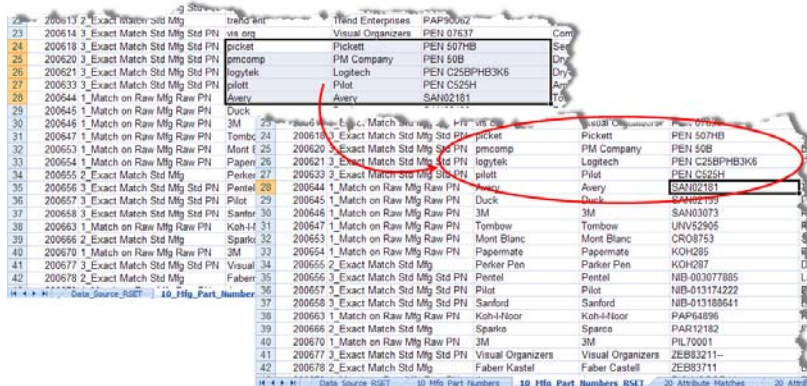


確認の問合せが表示され、「Yes」をクリックすると、すべての回帰ワークシートがワークブックから削除されます。

回帰セットへのセルの追加

結果ワークシートでセルのセットをレビューおよび承認した後に、対応する回帰ワークシートを更新し、作業を追跡できます。これにより、特に大規模な回帰セットにおいて、データ・テストの進捗状況を確認できます。

この操作を行うには、コピーするデータのセルを選択します。選択箇所を右クリックしてから、「DataLens Services」、「Copy Cells to Regression Set」の順に選択します。



上の例のように、選択したセルまたはレコードが、回帰セット・ワークシートの同じ場所にコピーされます。

また、強調表示された結果セルのいずれかを選択すると、Services for Excelによって類似したデータのセルが検出され、回帰セットにコピーされます。この操作を行うには、データのセルを1つ選択して右クリックし、「DataLens Services」、「Copy Like Cells to Regression Set」の順に選択します。

選択したレコードの比較

選択したレコードを比較することにより、回帰セット内のすべてのレコードの比較を行わずに、関心のあるデータを迅速に探し出すことができます。この操作を行うには、ソース・データまたは結果ワークシートで関心のある行を選択して右クリックし、「DataLens Services」、「Compare Selected Records」の順に選択します。

レコードが比較され、次の例（レコード2から10までが選択されている）のように、差異が黄色に強調表示されます。

request_id	source_desc	att1
200544	Highlighter Chisel Point Fluorescent Green	FLUORESCENT GREEN
200544	Highlighter Chisel Point Fluorescent Green	FLUORESCENT GREEN
200586	Refill Rollball Ink Ble	ROLLER BALL
200602	Ballpoint Pen Medium Point Black Barrel Black Ink	BLACK
200602	Ballpoint Pen Medium Point Black Barrel Blk Ink	BLACK
200602	Ballpoint Pen Medium Point Black Barrel Black Ink	BLACK
200606	Ballpoint Pen Refill Point Mdm Black Ink	BALLPOINT
200606	Ballpoint Pen Refill Point Mdm Black Ink	BALLPOINT
200606	Ballpoint Pen Rfl Point Mdm Black Ink	BALLPOINT
200606	Ballpoint Pen Refill Point Mdm Black Ink	BALLPOINT
200608	China Mrk	CHINA
200608	China Mrk	CHINA
200544	Highlighter Chisel Point Fluorescent Green	FLUORESCENT GREEN
200544	Highlighter Chisel Point Fluorescent Green	FLUORESCENT GREEN
200586	Refill Rollball Ink Blue	ROLLER BALL
200602	Ballpoint Pen Medium Point Black Barrel Black Ink	BLACK
200602	Ballpoint Pen Medium Point Black Barrel Black Ink	BLACK
200602	Ballpoint Pen Medium Point Black Barrel Black Ink	BLACK
200606	Ballpoint Pen Refill Point Mdm Black Ink	BALLPOINT
200606	Ballpoint Pen Refill Point Mdm Black Ink	BALLPOINT
200606	Ballpoint Pen Refill Point Mdm Black Ink	BALLPOINT
200606	Ballpoint Pen Refill Point Mdm Black Ink	BALLPOINT
200608	China Mrkr Green Ink 12 / Box	CHINA
200608	China Mrkr Green Ink 12 / Box	CHINA
200608	China Mrkr Green Ink 12 / Box	CHINA
200611	China Mrk yellow ink	CHINA
200611	China Mrk yellow ink	CHINA
200611	China Mrk yellow ink	CHINA

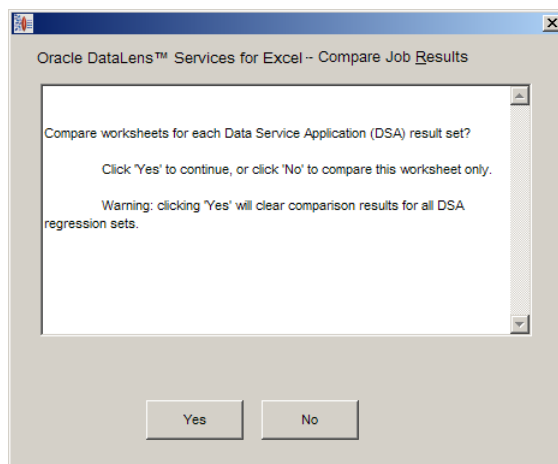
比較の強調表示をクリアするには、通常表示に戻す行を選択してから、「DataLens Services」、「Clear Comparisons for Selected Cells」の順に選択します。次の例のように、選択したセルから色が解除されます。

request_id	source_desc	att1
200544	Highlighter Chisel Point Fluorescent Green	FLUORESCENT GREEN
200544	Highlighter Chisel Point Fluorescent Green	FLUORESCENT GREEN
200586	Refill Rollball Ink Ble	ROLLER BALL
200602	Ballpoint Pen Medium Point Black Barrel Black Ink	BLACK
200602	Ballpoint Pen Medium Point Black Barrel Blk Ink	BLACK
200602	Ballpoint Pen Medium Point Black Barrel Black Ink	BLACK
200606	Ballpoint Pen Refill Point Mdm Black Ink	BALLPOINT
200606	Ballpoint Pen Refill Point Mdm Black Ink	BALLPOINT
200606	Ballpoint Pen Rfl Point Mdm Black Ink	BALLPOINT
200606	Ballpoint Pen Refill Point Mdm Black Ink	BALLPOINT
200608	China Mrkr Green Ink 12 / Box	CHINA
200608	China Mrkr Green Ink 12 / Box	CHINA
200608	China Mrkr Green Ink 12 / Box	CHINA
200611	China Mrk yellow ink	CHINA
200611	China Mrk yellow ink	CHINA
200611	China Mrk yellow ink	CHINA

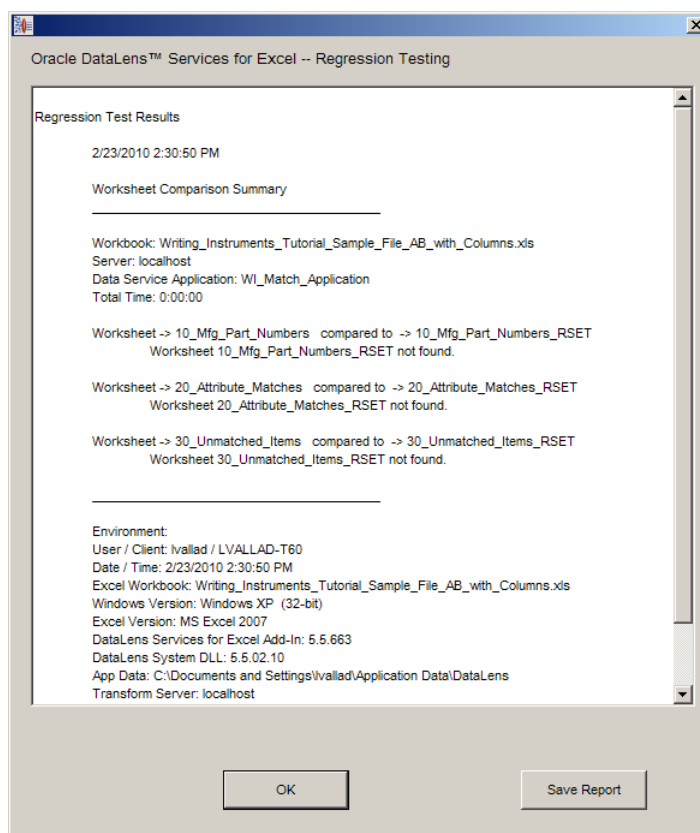
行6のセルが選択され、強調表示が削除されています。

ジョブ結果の比較

処理済データは、すべての結果ワークシートまたは1つの結果ワークシートのみで比較できます。アクティブな結果ワークシートで、「**Services for Excel**」 ツールバーで、「**Test**」 をクリックし、「**Compare Job Results**」 を選択します。



すべての結果ワークシートを比較し、以前の比較結果をクリアする場合は「**Yes**」を選択し、アクティブなワークシートのみを比較する場合は「**No**」を選択します。



レポートには、結果ワークシートと回帰ワークシートの間で検出されたすべての差異が、シートごとに一覧表示されます。「**Save Report**」 ボタンを使用すると、情報をテキスト・ファイルに保存して、後でレビューや印刷ができます。

データ・サンプリングの使用

DSA をテストまたはデバッグするため、または処理済データを視覚的に点検するために、データ・レコードのサンプルを作成すると役立つ場合があります。データ・レコードのサブセットを特定することにより、処理時間を節約できます。データ・サンプルは、レコードのランダムなセットで作成されます。次のサンプリング方法を使用できます。

キー・レコード・サンプル

キー・レコード・セットは、少なくとも 20 のランダムに選択されたレコードで作成されます。ただし、アクティブなワークシートから取得されるレコードは、レコード合計数の 1% 未満です。キー・レコード・セットのワークシートを使用すると、選択した DSA および関連付けられたデータ・レンズの基本機能をテストできます。データ・ソースに含まれるレコードが 20 未満の場合、すべてのレコードが使用されます。

キー・サンプルを作成するには、キー・データ・サンプルが必要なワークシートを選択します。「Test」ボタンをクリックし、「Sampling」、「Create Key Record Sample」の順に選択します。

データ・サンプルが自動的に作成され、アクティブなワークシートと同じ名前の末尾に `_KSET` が付いた名前のシートに保存されます。たとえば、アクティブなワークシートが `Source_Data` という名前の場合、作成されるキー・サンプル・ワークシートの名前は `Source_Data_KSET` となります。

ベースライン・レコード・サンプル

ベースライン・レコード・セットは、少なくとも 1000 のランダムに選択されたレコードで作成されます。ただし、アクティブなワークシートから取得されるレコードは、レコード合計数の 8% 未満です。このサンプルは、データ変換プロセスではなく、データのテストに使用します。データ・ソースに含まれるレコードが 1000 未満の場合、すべてのレコードが使用されます。

キー・サンプルを作成するには、キー・データ・サンプルが必要なワークシートを選択します。「Test」ボタンをクリックし、「Sampling」、「Create」の順に選択します。

データ・サンプルが自動的に作成され、アクティブなワークシートと同じ名前の末尾に `_KSET` が付いた名前のシートに保存されます。たとえば、アクティブなワークシートが `Source_Data` という名前の場合、作成されるキー・サンプル・ワークシートの名前は `Source_Data_KSET` となります。

データ・サンプル・ワークシートを作成した後は、データを処理する DSA ジョブを設定することにより、より簡単にレビューできるようになります。

同じデータの別のサンプルを作成しようとする、既存のサンプルを上書きするかどうかの選択を求められます。

作成したデータ・サンプル・ワークシートは、Excel の標準のワークシート削除機能を使用して削除できます。

ソース・データのバックアップ

ソース・データのバックアップを作成すると、作業の喪失を確実に防ぐことができます。このバックアップ・ワークシートは、DSA 処理ジョブの設定時に「**Backup Worksheet**」オプションを選択すると、自動的に作成および更新されます。このオプション設定の詳細は、3-4 ページの「**Advanced Options** セクション」を参照してください。

注意： このバックアップ・ワークシートは、誤って削除することがないように、非表示のワークシートになっています。

「Jobs」メニューにある次の機能が、バックアップ・ワークシートと連携して使用されます。

Restore

最新のバックアップ・ワークシートを使用して、ソース・データ・ワークシートを復元します。復元するとアクティブなワークシートが上書きされる可能性があるため、関連付けられた非表示のバックアップ・ワークシートがある場合に、データの上書きを続行するように求められます。

Reset

バックアップ・ワークシート、回帰ワークシート、および Services for Excel で作成されたその他すべての非表示ワークシートを削除します。この機能は、今後ワークブックを使用することがないためコンテンツをアーカイブしている場合や、ワークブックを他のユーザーと共有するときに処理情報すべてを提供しないようにする場合などに役立ちます。

AutoBuild アプリケーションの使用

AutoBuild アプリケーションの目的は、既存の製品情報から暗黙的および明示的な分類情報を抽出してから、その抽出された情報を使用して、ユーザーのエンタープライズのコンテンツに固有のデータ・レンズを作成することです。このアプリケーションは Excel スプレッドシートに含まれる製品情報に依存し、Services for Excel とともに使用できます。

AutoBuild を使用すると、既存の Excel ワークシート製品情報および Enterprise DQ for Product スマート用語集を使用して、ユーザーのビジネス要件に固有の初期データ・レンズを作成できます。次に、Enterprise DQ for Product アプリケーションのフルセットを使用してデータを認識、標準化、分類および翻訳し、さらにユーザーが定義した包括的なビジネス・プロセスに従って変換することにより、データ・レンズで取得されたナレッジを強化できます。

AutoBuild を開始するには、「**DataLens Tools**」ボタンをクリックしてから「**AutoBuild...**」を選択するか、ツールバーの「**AutoBuild**」ボタンをクリックします。

注意： 次のメッセージが表示される場合があります。

```
No data lenses were found.
Please make sure the Knowledge Studio is installed and check out the
Smart Glossaries.
```

これは、Services for Excel がインストールされていて EDQP クライアント・ソフトウェアがインストールされていないことを意味します。インストールの説明は、2-1 ページの「**Services for Excel のインストールおよび構成**」を参照してください。

AutoBuild アプリケーションの使用の詳細は、Oracle Enterprise Data Quality for Product Data AutoBuild リファレンス・ガイドを参照してください。

